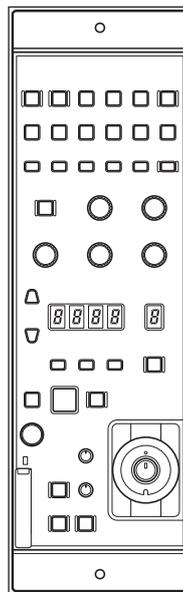


取扱説明書

<操作設定編>

リモートオペレーションパネル

品番 **AK-HRP200G**



● 取扱説明書の構成について

・基本編：

必要な機器との接続や、設置について説明しています。

本機を設置する前に、必ず基本編をお読みいただき、正しく設置してください。

・操作設定編（本書）：

本機の操作や設定のしかたについて説明しています。

■商標および登録商標について

- ・SDHCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
- ・その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

■略称について

- 本書では、以下の略称を使用しています。
- ・SDメモリーカードとSDHCメモリーカードは、いずれも「メモリーカード」と記載しています。それぞれを分けて説明する場合は、個別に記載しています。
 - ・パーソナルコンピューターを「コンピューター」と記載しています。
 - ・本書では、スタジオハンディカメラを「カメラ」と記載しています。
 - ・本書では、カメラコントロールユニットを「CCU」と記載しています。
 - ・本書では、リモートオペレーションパネルを「ROP」と記載しています。
 - ・本書では、マスターセットアップユニットを「MSU」と記載しています。
 - ・本書では、メモリーカードカメラレコーダーを「カメラレコーダー」と記載しています。

■本書内のイラストや画面表示について

- ・イラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します。*

法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

* 経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

- ・本商品とともに使用するメモリーカードに記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合があります。本商品が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合は、その取り扱いに十分に注意してください。メモリーカードは取り外し、保管管理してください。

もくじ

はじめに	3
動作モード	4
動作モードについて	4
シリアル接続モードとIP接続モードの切り替えについて	4
動作モードの設定手順について	5
セットアップモード	6
セットアップモードについて	6
セットアップモードの操作	10
1 カメラナンバーの設定	10
2 シーンファイル メモリーカード保存/読み出し	10
3 ユーザーファイル メモリーカード保存/読み出し	11
4 レンズファイル メモリーカード保存/読み出し	12
5 ROP設定ファイル メモリーカード保存/読み出し	13
6 メモリーカードフォーマット	13
7 フレア/ペデスタル選択/設定	14
8 ブザー鳴動設定(操作音/コール音)	14
9 表示輝度設定(LED/7セグ)	14
10 IPアドレス設定	15
11 サブネットマスク設定	15
12 デフォルトゲートウェイ設定	16
13 ポート設定	16
14 リモートカメラ設定ファイル保存/読み出し	16
15 シリアル設定	17
16 設定初期化	18
17 バージョン確認	18
18 機器情報メモリーカード保存	18
19 ソフトウェアアップデート	19
20 タリーナンバー設定	19
21 タリー出力設定	19
22 シンクロシャッター表示設定	19
23 タリー制御設定(カメラレコーダーのみの設定)	20
セットアップモード時のエラー表示	20
ROPメニュー操作	21
本機から操作できるROPメニューについて	21
ROPメニュー操作のしかた	21

ROPメニュー設定項目	23
SHADING(WHITE)	23
PEDESTAL/FLARE/GAIN	23
GAMMA/BLACK. GAMMA	24
CINEMA GAMMA	25
KNEE/WHITE CLIP	25
COLOR CONTROL	26
MATRIX (1/2)	26
MATRIX (2/2)	27
HD DTL/SKIN DTL (1/2)	27
HD DTL/SKIN DTL (2/2)	28
SD DETAIL	28
SYSTEM (1/2)	29
SYSTEM (2/2)	30
FUNCTION	30
LENS FILE/EDIT (1/2)	31
LENS FILE/EDIT (2/2)	31
ROP SD CARD	32
IP接続	33
IP設定の手順について	33
ソフトウェアの起動方法	34
機器の接続	34
パーソナルコンピューターの接続、設定	34
機器のIPアドレスの設定	34
ROPの各種設定	34
IP簡単設定ソフトウェア	35
機器のIPアドレスを設定する	35
ROPセットアップソフトウェア	36
ROPセットアップソフトウェアへ本機を登録する [ROP List]	36
本機の機器設定を行う [Configuration]	37
カメラとの接続設定をする [Camera List]	37
ユーザー認証の設定を行う [UserAuth.]	40
さくいん	41

はじめに

■ 概要

本機はスタジオハンディカメラ (AK-HC3800/AK-HC3500A) およびカメラコントロールユニット (AK-HCU200/AK-HCU355A) を制御するリモートオペレーションパネルです。スタジオハンディカメラとカメラコントロールユニット間は、専用の光ファイバーケーブルで接続し、本機とカメラコントロールユニット間は、ROPケーブルまたはIPで接続します。また、リモートカメラ、カメラレコーダーをシリアル接続またはIP接続することもできます。IP接続時は、スタジオハンディカメラとリモートカメラ、カメラレコーダーを最大19台制御することができます。

■ メモリーカードについて

本機で使用するメモリーカードは、SD規格/SDHC規格に準拠したものをお使いください。また、メモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。本機では、下記の容量のメモリーカードが使用できます。なお、SDXCメモリーカードには対応していません。

SDメモリーカード(8 MB ~ 2 GB まで)
SDHCメモリーカード(4 GB ~ 32 GB まで)

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のWebサイトをご参照ください。

(日本語) <https://panasonic.biz/cns/sav/>
(英語) <http://pro-av.panasonic.net/>

使用時、保管時は以下の点にお気をつけください。

- ・高温・多湿を避ける。
- ・水滴を付けない。
- ・帯電を避ける。

■ アップグレード用ソフトウェアについて

アップグレード用ソフトウェアは、下記のWebサイトの「サポート & ダウンロード」から入手することができます。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

アップグレードの手順は、ダウンロードファイルに含まれている手順書に従って行ってください。

■ 周辺機器ソフトウェア

本機は接続する周辺機器(カメラ、CCU)は、ソフトウェアのアップデートが必要な場合があります。詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- ③ お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- ④ 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥ 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

■ 各種ファイルについて

シーンファイル	主にビデオエンジニア (VE) が扱う絵作り用のデータです。
リファレンスファイル	ユーザーファイルとファクトリーファイルを総称してリファレンスファイルと呼びます。
ユーザーファイル	シーンファイルとオペレーションデータで構成されるシステムセッティング用のデータ (リファレンスファイル) です。ユーザーによる登録が可能です。
ファクトリーファイル	工場でのカメラ設定を記憶したリファレンスファイルです。
レンズファイル	ビデオエンジニア (VE) が扱うレンズ固有の特性を補正するデータです。
ROP設定ファイル	ROP固有の設定データです。
リモートカメラ設定ファイル	リモートカメラの設定データです。IP経由でリモートカメラから取得します。

動作モード

動作モードについて

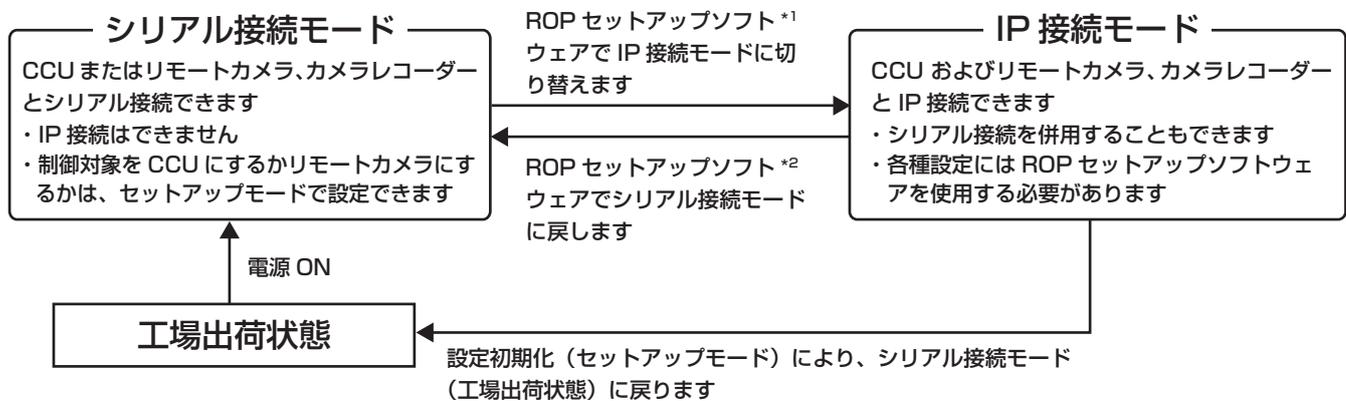
本機には「シリアル接続モード」と「IP接続モード」があります。

シリアル接続モード	CCUまたはリモートカメラ、カメラレコーダーのいずれか1台とシリアル接続で使用する動作モードです。 CCUまたはリモートカメラ、カメラレコーダーのいずれか1台のみ制御可能です。(カメラ切り替え操作はできません) 出荷時はシリアル接続モードです。
IP接続モード	CCUおよびリモートカメラ、カメラレコーダーとIP接続で使用する動作モードです。 IP接続と同時にCCUまたはリモートカメラ、カメラレコーダーのいずれか1台とシリアル接続で使用することも可能です。 CCUまたはリモートカメラ、カメラレコーダーを最大19台まで制御可能です。(カメラ切り替え操作ができます) ROPセットアップソフトウェアを使用して各種設定を行います。

動作モード	接続構成	シリアル接続			IP接続	ROPセットアップソフトウェアの使用
		CCU	リモートカメラ	カメラレコーダー		
シリアル接続モード	CCUをシリアル接続する構成	○ (1台のみ)	× (接続不可)	× (接続不可)	— (接続しない)	不要
	リモートカメラをシリアル接続する構成	× (接続不可)	○ (1台のみ)	× (接続不可)	— (接続しない)	
	カメラレコーダーをシリアル接続する構成	× (接続不可)	× (接続不可)	○ (1台のみ)	— (接続しない)	
IP接続モード	IP接続のみの構成	— (接続しない)	— (接続しない)	— (接続しない)	○ (合計19台まで)	必要
	CCUをシリアル接続し、IP接続も併用する構成	○ (1台のみ)	× (接続不可)	× (接続不可)	○ (合計18台まで)	
	リモートカメラをシリアル接続し、IP接続も併用する構成	× (接続不可)	○ (1台のみ)	× (接続不可)	○ (合計18台まで)	
	カメラレコーダーをシリアル接続し、IP接続も併用する構成	× (接続不可)	× (接続不可)	○ (1台のみ)	○ (合計18台まで)	

シリアル接続モードとIP接続モードの切り替えについて

シリアル接続モードとIP接続モードの切り替えは、ROPセットアップソフトウェアで行います。(→36ページ)
設定初期化(セットアップモード)を行うと、シリアル接続モード(工場出荷状態)に戻ります。



IP接続モードでは、運用中に最大19台のCCUまたはリモートカメラ、カメラレコーダーを切り替えて制御することができます。
シリアル接続モードでは、運用中に1台のCCUまたはリモートカメラ、カメラレコーダーのみ制御することができます。

*1 シリアル接続モードのとき

IP接続モードでメモリーカードに保存した「ROP設定ファイル」を読み込むと、IP接続モードになります。

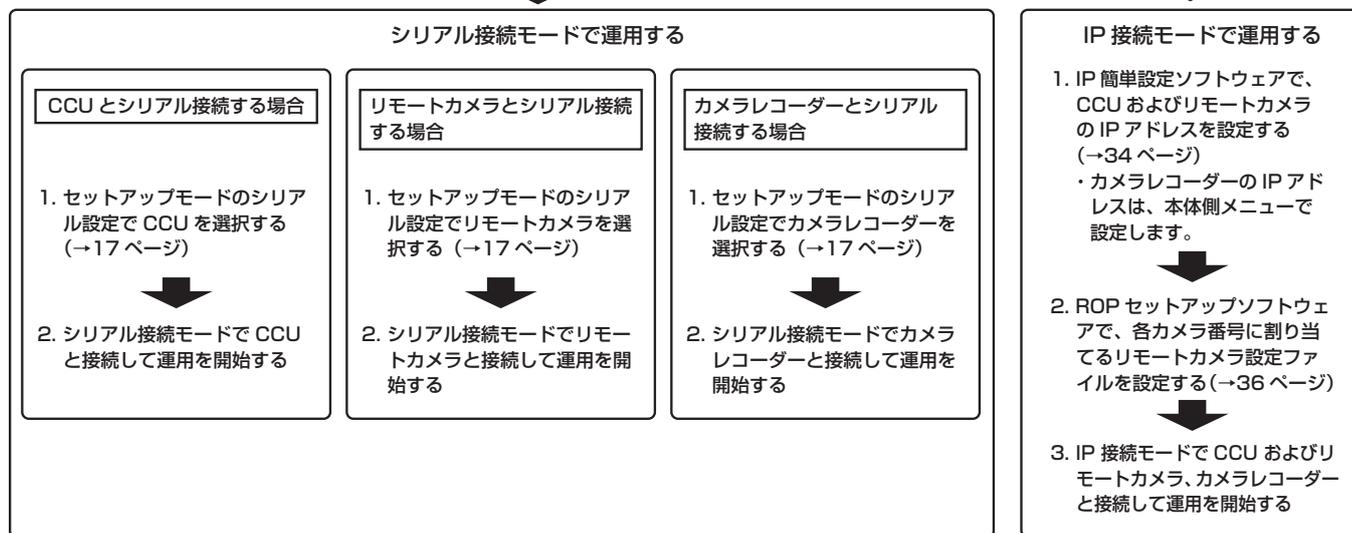
*2 IP接続モードのとき

シリアル接続モードでメモリーカードに保存した「ROP設定ファイル」を読み込むと、シリアル接続モードになります。

動作モードの設定手順について

工場出荷状態で本機にCCUおよびリモートカメラ、カメラレコーダーを接続して、動作モードの設定を行ってください。

工場出荷状態で、本機にCCUまたはリモートカメラ、カメラレコーダーを接続する
(詳しくは取扱説明書 <基本編> を参照)



<NOTE>

●IP接続モードの設定について

運用中にIP簡単設定ソフトウェア、ROPセットアップソフトウェアを起動させないでください。
ROPの接続が切れ、運用に支障をきたすおそれがあります。

セットアップモード

セットアップモードについて

セットアップモードでは、本機の各種設定やシーンファイル、ユーザーファイルの保存、読み出しなどを行います。
 セットアップモードの操作中は、通常の運用操作はできません。また、ROPメニュー(REMOTE OPERATION MENU)を操作できません。

■セットアップモードでできること

セットアップモードでは次の操作ができます。
 カメラレコーダー(シリアル接続)は、カメラレコーダー(IP接続)と同じです。

項目	調整範囲	表示	ROPシリアル接続モード		ROP IP接続モード				
			CCU (シリアル接続)	リモート カメラ (シリアル接続)	CCU (シリアル接続)	リモート カメラ (シリアル接続)	CCU (IP接続)	リモート カメラ (IP接続)	カメラ レコーダー (IP接続)
1	カメラナンバー設定	カメラナンバーの設定ができます。	○						
2	シーンファイル メモリーカード保存/読み出し	現在運用中のシーンファイルをメモリーカードに保存できます。また、メモリーカードに保存されているシーンファイルを読み出すことができます。	○		○		○		
3	ユーザーファイルメモリーカード保存/読み出し	現在運用中のユーザーファイルをメモリーカードに保存できます。また、メモリーカードに保存されているユーザーファイルを読み出すことができます。	○		○		○		
4	レンズファイルメモリーカード保存/読み出し	現在運用中のレンズファイルをメモリーカードに保存できます。また、メモリーカードに保存されているレンズファイルを読み出すことができます。	○		○		○		
5	ROP設定ファイルメモリーカード保存/読み出し	本機の設定ファイルをメモリーカードに保存できます。また、メモリーカードに保存されている本機の設定ファイルを読み出すことができます。	○	○	○	○	○	○	○
6	メモリーカードフォーマット	メモリーカードのフォーマットができます。	○	○	○	○	○	○	○
7	フレア/ベダスタル選択/設定	フレア/ベダスタルボリュームの機能を選択できます。	○	○	○	○	○	○	○
8	ブザー鳴動設定(操作音/コール音)	ブザー音(操作音/コール音)の有効、無効を設定できます。	○	○	○	○	○	○	○
9	表示輝度設定(LED/7セグ)	パネル面のLEDと7セグ表示器の輝度を設定できます。	○	○	○	○	○	○	○
10	IPアドレス設定	本機のIPアドレスを設定します。	○	○	○	○	○	○	○
11	サブネットマスク設定	本機のサブネットマスクを設定します。	○	○	○	○	○	○	○
12	デフォルトゲートウェイ設定	本機のデフォルトゲートウェイを設定します。	○	○	○	○	○	○	○
13	ポート設定	本機のポートを設定します。	○	○	○	○	○	○	○
14	リモートカメラ設定ファイル保存/読み出し	リモートカメラが記憶しているデータをメモリーカードに保存できます。また、メモリーカードに保存されているカメラファイルを読み出すことができます。						○	
15	シリアル設定	本機がシリアル接続モードの場合、CCUシリアルとリモートカメラシリアル、カメラレコーダーシリアルを切り替えます。	○	○					
16	設定初期化	本機の設定を初期化できます。	○	○	○	○	○	○	○
17	バージョン確認	本機のソフトウェアのバージョンを表示します。	○	○	○	○	○	○	○
18	機器情報メモリーカード保存	本機の機器情報をメモリーカードに保存できます。	○	○	○	○	○	○	○
19	ソフトウェアアップデート	本機のソフトウェアのアップデートに使用します。	○	○	○	○	○	○	○
20	タリーナンバー設定	タリー入力に割り当てるカメラナンバーを設定します。		○		○		○	○
21	タリー出力設定	タリー出力の有効/無効を設定できます。		○		○		○	○
22	シンクロシャッター表示設定	シンクロシャッター時の表示をSEC/DEGに切り替えます。							○
23	タリー制御設定	タリーの制御を、パネルからの操作か、プレビュー端子からの入力を設定します。							○

セットアップモードのメニューは本機の動作モード、接続構成により異なります。

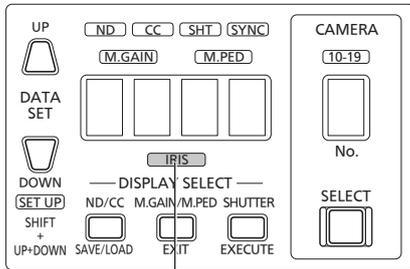
セットアップモード (つづき)

■セットアップモードへの移行のしかた

セットアップモードは、通常の運用時とは異なる動作モードになります。セットアップモードへは、次の操作で移行してください。

1. カメラおよびCCUを接続している場合は、IRIS 選択状態 (パネル上の<IRIS>表示部が点灯している状態)にする

IRIS表示部が点灯していない場合は、<DISPLAY SELECT>の中の選択中のボタンを押してIRIS 選択状態にしてください。

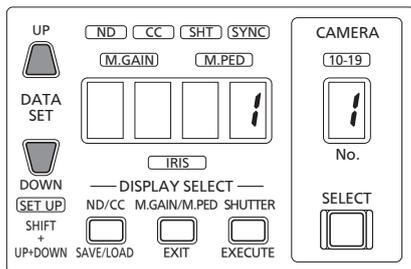
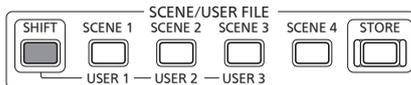


IRIS 表示部

カメラおよびCCUを接続していない場合でも、電源を投入した状態でセットアップモードへ移行することが可能です。

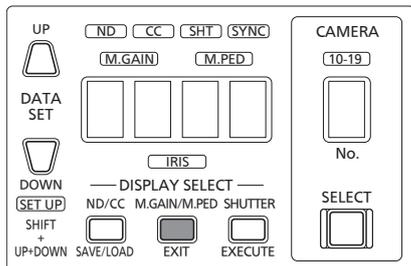
2. データセット<DATASET>の<UP>と<DOWN>および<SHIFT>を約2秒間同時に押す

セットアップモードに移行し、メニュー番号1 (カメラナンバー設定)が表示されます。



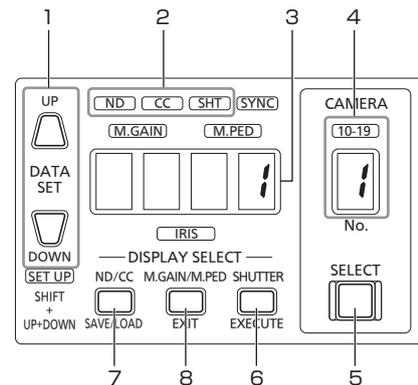
■セットアップモードの終わり方

セットアップモードを終わる場合は、<EXIT>を約2秒間押します。通常の運用モードに戻ります。

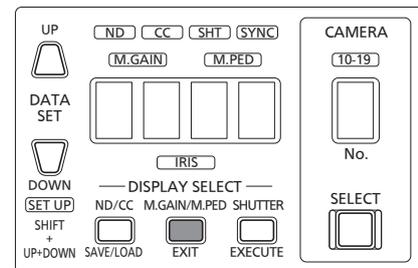


■基本的な操作のしかた

セットアップモードでは、下図の範囲のボタンと表示のみを使用します。それ以外のボタンは操作できません。この範囲外のLEDはすべて消灯します。(アラーム表示部を除く)



1. 設定値の選択をします
2. サブメニューの選択状態を示します
3. 設定値や選択値を表示します
4. メニュー番号を表示します
5. メニュー番号を選択します。押すたびにメニュー番号が上がっていきます
1→2→3→...→21→1→2→...
6. 設定を確定します
7. サブメニューを選択します。押すたびにサブメニューが切り替わります
8. セットアップモードを終わる場合は、<EXIT>を約2秒間押します。通常の運用モードに戻ります。



セットアップモード (つづき)

■セットアップモードのメニュー構成

セットアップモードは、下表の通り「メニュー」と「サブメニュー」で構成されています。

メニュー		サブメニュー		設定値/操作選択	初期値
<SELECT>を押してメニュー番号を選択します。		<SAVE/LOAD>を押してサブメニューを選択します。		<UP>/<DOWN>で設定値もしくは操作を選択します。 <EXECUTE>で選択を確定します。	
番号	メニュー項目	点灯表示	設定・操作項目	7SEG表示器(表示、選択)	初期値
1	カメラナンバー設定*1	-	-	カメラナンバー (AK-HC3500A : 1~15) (AK-HC3800 : 1~19)	1
2	シーンファイル メモリーカード 保存/読み出し	ND	メモリーカードへの保存	シーンファイル(1~4)	1
		CC	メモリーカードからの読み出し	シーンファイル(1~4)	1
3	ユーザーファイル メモリーカード 保存/読み出し	ND	メモリーカードへの保存	ユーザーファイル(1~3)	1
		CC	メモリーカードからの読み出し	ユーザーファイル(1~3)	1
4	レンズファイル メモリーカード 保存/読み出し	ND	メモリーカードへの保存	レンズファイル(1~32)	1
		CC	メモリーカードからの読み出し	レンズファイル(1~32)	1
5	ROP設定ファイル メモリーカード 保存/読み出し	ND	メモリーカードへの保存	-	-
		CC	メモリーカードからの読み出し	-	-
6	メモリーカードフォーマット	-	-	-	-
7	フレア/ペダスタル選択/設定*1	-	-	FLARE/PED (FL/PE)	FL
8	ブザー鳴動設定(操作音/CALL)*1	-	-	鳴動有効/無効 (on/off)	on
9	表示輝度設定(LED/7セグ)*1	ND	LED	3段階(明/中間/暗)	明
		CC	7セグ	3段階(明/中間/暗)	明
10	IPアドレス設定*1*2	ND	第1ブロック	第1ブロックを表示/設定	192.168.0.130
		CC	第2ブロック	第2ブロックを表示/設定	
		SHT	第3ブロック	第3ブロックを表示/設定	
		SYNC	第4ブロック	第4ブロックを表示/設定	
11	サブネットマスク設定*1*2	ND	第1ブロック	第1ブロックを表示/設定	255.255.255.0
		CC	第2ブロック	第2ブロックを表示/設定	
		SHT	第3ブロック	第3ブロックを表示/設定	
		SYNC	第4ブロック	第4ブロックを表示/設定	
12	デフォルトゲートウェイ設定 *1*2	ND	第1ブロック	第1ブロックを表示/設定	192.168.0.1
		CC	第2ブロック	第2ブロックを表示/設定	
		SHT	第3ブロック	第3ブロックを表示/設定	
		SYNC	第4ブロック	第4ブロックを表示/設定	
13	ポート設定*1*2	ND	3桁	3桁を表示/設定	35200
		CC	2桁	2桁を表示/設定	
14	リモートカメラ設定ファイル保 存/読み出し	ND	メモリーカードへの保存	カメラファイル(1~19)	1
		CC	メモリーカードからの読み出し		
15	シリアル設定*1	-	-	CCUシリアル(1) リモートカメラシリアル(2) カメラレコーダーシリアル(3)	1
16	設定初期化	-	-	-	-
17	バージョン確認	ND	バージョン番号(上位)	上位3桁を表示	-
		CC	バージョン番号(中位)	中位2桁を表示	-
		SHT	バージョン番号(下位)	下位3桁を表示	-
18	機器情報メモリーカード保存	-	-	-	-
19	ソフトウェアアップデート	-	-	-	-
20	タリーナンバー設定*1	-	-	タリーナンバー(1~19、-)	1
21	タリー出力設定*1	-	-	タリー連動(on/off)	off
22	シンクロシャッター表示設定	-	-	SEC/DEG(SEC/dEG)	SEC
23	タリー制御設定*3	-	-	1(パネル操作)/2(プレビュー端子)	1

*1 設定初期化の対象です。

*2 設定の変更を行った場合、セットアップモードを終了するとき再起動します。

*3 この設定はカメラレコーダーとの接続時に有効となる設定です。

セットアップモード (つづき)

■メモリーカードで扱うファイルについて

本機のセットアップモードでメモリーカードに保存または読み出しするファイルは、次のようになっています。ファイル名は固定で付与されますので、コンピューターなどで変更しないでください。変更した場合は本機で取り扱いできなくなります。

メモリーカードで扱うファイル	ファイル名
シーンファイル	SCENE1.BIN～SCENE4.BIN
ユーザーファイル	USER1.BIN～USER3.BIN
レンズファイル	LENS01.BIN～LENS32.BIN
ROP設定ファイル	ROP_OPE.BIN
機器情報ファイル	ROP_INFO.BIN
リモートカメラ設定ファイル	CAM01.BIN～CAM19.BIN

<NOTE>

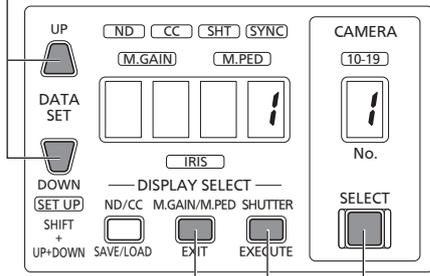
- 本機で扱うことができるシーンファイル、ユーザーファイル、レンズファイルは、AK-HC3800のデータのみです。AK-HC3500Aおよびリモートカメラのデータは扱うことができません。
- MSUでメモリーカードに保存されたファイルは、本機で読み出すことはできません。
また、本機でメモリーカードに保存したファイルは、MSUで読み出すことはできません。
- リモートカメラ設定ファイルは、リモートカメラと本機をIP接続している場合のみ保存、読み出しが可能です。
- 本機でメモリーカードに保存したファイルの保存日時(タイムスタンプ)は、「2099年1月1日 00:00」に固定されています。

セットアップモードの操作

1 カメラナンバーの設定

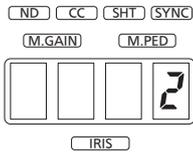
1. セットアップモードに移行してメニュー番号が[1]になっていることを確認し、メニュー番号が[1]以外の場合は、<SELECT>を押して、メニュー番号[1]を選択する

カメラナンバーの選択



セットアップモードの終了(長押し) メニュー番号の選択
カメラナンバーの確定

2. <UP>、<DOWN>を押してカメラナンバーを選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する



カメラナンバーを2に設定する場合

- ・カメラナンバーは、セットアップモードを終了させた後に反映されます。
- ・セットアップモードを終了する場合は、<EXIT>を約2秒押しします。
- ・他の設定を行う場合は、<SELECT>を押してメニュー番号を選択します。

<NOTE>

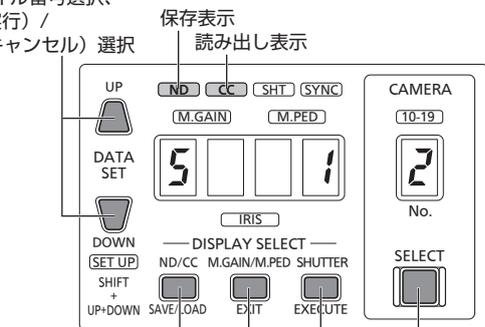
AK-HC3500Aはカメラナンバー1～15が有効です。
AK-HC3500Aを接続している場合は、カメラナンバーを16以降に設定しないでください。

2 シーンファイル メモリーカード保存/読み出し

メモリーカードへは、現在の運用状態のデータがシーンファイルとして保存されます。

<SELECT>を押して、メニュー番号[2]を選択する

ファイル番号選択、
y (実行) /
n (キャンセル) 選択



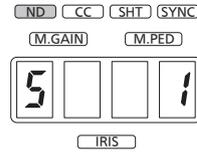
保存 / 読み出しの選択 確定 メニュー番号の選択
セットアップモードの終了(長押し)

2-1 シーンファイルのメモリーカードへの保存

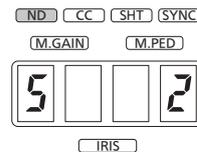
セットアップモードに移行する前に、シーン/ユーザー選択ボタンで保存したいシーンファイル呼び出ししてください。(シーンファイルの呼び出しかたについては取扱説明書<基本編>を参照してください)

1. <SAVE/LOAD>を押して[ND]を選択する

- ・<SAVE/LOAD>を押すたびに、[ND] (保存)と[CC] (読み出し)が切り替わります。



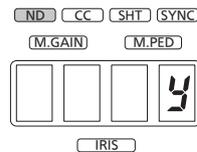
2. <UP>、<DOWN>を押してメモリーカードのファイル番号を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する



メモリーカードのファイル番号2に保存する場合

3. <UP>、<DOWN>を押して[y]を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する

- ・メモリーカードアクセス中は、メモリーカードを抜かないでください。



- ・[n]を選択し、<EXECUTE>を押すと保存がキャンセルされます。
- ・メモリーカードへの保存を実行し、保存が完了すると[Fin]と表示されます。
- ・メモリーカードの保存に失敗した場合は、[E02]と表示されます。(→20ページ)

この場合は、メモリーカードの状態を確認して再度操作を実行するか、別のメモリーカードを挿入して再度操作を実行してください。
・メモリーカード内に、保存対象のシーンファイルと同一ファイル名のシーンファイルが存在する場合は、[E01]と表示されます。
このとき、<UP>、<DOWN>を押して[y]を選択して<EXECUTE>を押すと、上書き保存できます。(→20ページ)

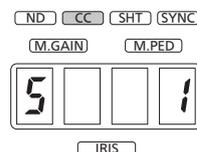
- ・セットアップモードを終了する場合は、<EXIT>を約2秒押しします。
- ・他の設定を行う場合は、<SELECT>を押してメニュー番号を選択します。

2-2 メモリーカードからのシーンファイルの読み出し

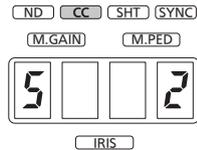
メモリーカードから読み出したシーンファイルのデータは、運用状態に展開されます。(シーンファイル1～4には展開されません。シーンファイル1～4に展開する場合は、セットアップモードを終了してシーンファイル1～4に登録してください。詳しくは取扱説明書<基本編>を参照してください。)

1. <SAVE/LOAD>を押して[CC]を選択する

- ・<SAVE/LOAD>を押すたびに、[ND] (保存)と[CC] (読み出し)が切り替わります。



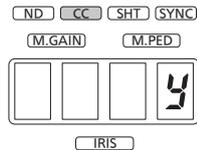
2. <UP>、<DOWN>を押してメモリーカードのファイル番号を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する



メモリーカードのファイル番号 2 を読み出す場合

3. <UP>、<DOWN>を押して [y] を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する

- メモリーカードアクセス中は、メモリーカードを抜かないでください。

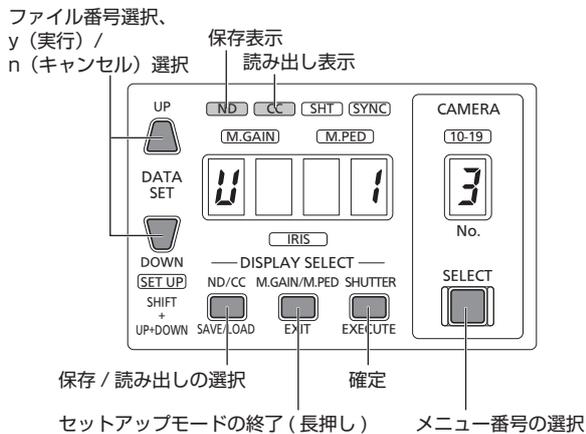


- [n] を選択し、<EXECUTE> を押すと読み出しがキャンセルされます。
- メモリーカードからの読み出しを実行し、読み出しが完了すると [Fin] と表示されます。
- メモリーカードからの読み出しに失敗した場合は、[E02] と表示されます。(→20ページ)
この場合は、メモリーカードの状態を確認し、メモリーカード内にファイルが存在していることを確認した後、再度手順1から操作してください。

- セットアップモードを終了する場合は、<EXIT> を約2秒押します。
- 他の設定を行う場合は、<SELECT> を押してメニュー番号を選択します。

3 ユーザーファイル メモリーカード保存/読み出し

<SELECT> を押して、メニュー番号 [3] を選択する

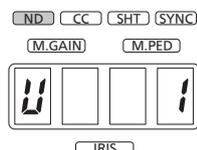


3-1 ユーザーファイルのメモリーカードへの保存

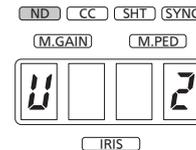
セットアップモードに移行する前に、シーン/ユーザー選択ボタンで保存したいユーザーファイル呼び出してください。(ユーザーファイルの呼び出しかたについては取扱説明書<基本編>を参照してください)メモリーカードへは、現在の運用状態のデータがユーザーファイルとして保存されます。

1. <SAVE/LOAD>を押して [ND] を選択する

- <SAVE/LOAD> を押すたびに、[ND] (保存) と [CC] (読み出し) が切り替わります。



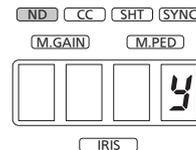
2. <UP>、<DOWN>を押してメモリーカードのファイル番号を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する



メモリーカードのファイル番号 2 に保存する場合

3. <UP>、<DOWN>を押して [y] を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する

- メモリーカードアクセス中は、メモリーカードを抜かないでください。



- [n] を選択し、<EXECUTE> を押すと保存がキャンセルされます。
- メモリーカードへの保存を実行し、保存が完了すると [Fin] と表示されます。
- メモリーカードの保存に失敗した場合は、[E02] と表示されます。(→20ページ)
この場合は、メモリーカードの状態を確認して再度操作を実行するか、別のメモリーカードを挿入して再度操作を実行してください。
- メモリーカード内に、保存対象のユーザーファイルと同一ファイル名のユーザーファイルが存在する場合は、[E01] と表示されます。このとき、<UP>、<DOWN>を押して [y] を選択して <EXECUTE> を押すと、上書き保存できます。(→20ページ)

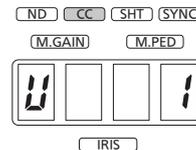
- セットアップモードを終了する場合は、<EXIT> を約2秒押します。
- 他の設定を行う場合は、<SELECT> を押してメニュー番号を選択します。

3-2 メモリーカードからのユーザーファイルの読み出し

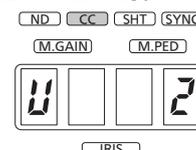
メモリーカードから読み出したユーザーファイルのデータは、運用状態に展開されます。(ユーザーファイル1~3には展開されません。ユーザーファイル1~3に展開する場合は、セットアップモードを終了してユーザーファイル1~3に登録してください。詳しくは取扱説明書<基本編>を参照してください。)

1. <SAVE/LOAD>を押して [CC] を選択する

- <SAVE/LOAD> を押すたびに、[ND] (保存) と [CC] (読み出し) が切り替わります。



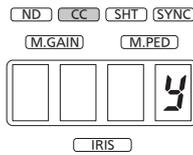
2. <UP>、<DOWN>を押してメモリーカードのファイル番号を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する



メモリーカードのファイル番号 2 を読み出す場合

3. <UP>、<DOWN>を押して [y] を選択し、<EXECUTE> を押して選択を確定する

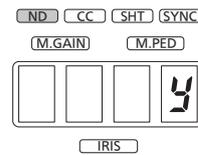
- ・メモリーカードアクセス中は、メモリーカードを抜かないでください。



- ・ [n] を選択し、<EXECUTE> を押すと読み出しがキャンセルされます。
- ・メモリーカードからの読み出しを実行し、読み出しが完了すると [Fin] と表示されます。
- ・メモリーカードからの読み出しに失敗した場合は、[E02] と表示されます。(→20ページ)
この場合は、メモリーカードの状態を確認し、メモリーカード内にファイルが存在していることを確認した後、再度手順1から操作してください。
- ・セットアップモードを終了する場合は、<EXIT> を約2秒押しします。
- ・他の設定を行う場合は、<SELECT> を押してメニュー番号を選択します。

3. <UP>、<DOWN>を押して [y] を選択し、<EXECUTE> を押して選択を確定する

- ・メモリーカードアクセス中は、メモリーカードを抜かないでください。

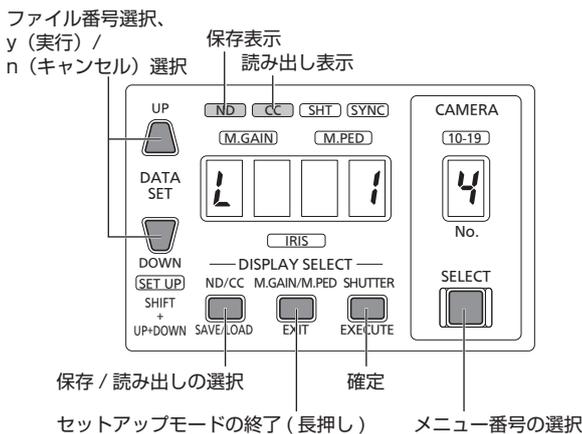


- ・ [n] を選択し、<EXECUTE> を押すと保存がキャンセルされます。
- ・メモリーカードへの保存を実行し、保存が完了すると [Fin] と表示されます。
- ・メモリーカードの保存に失敗した場合は、[E02] と表示されます。(→20ページ)
この場合は、メモリーカードの状態を確認して再度操作を実行するか、別のメモリーカードを挿入して再度操作を実行してください。
- ・メモリーカード内に、保存対象のレンズファイルと同一ファイル名のレンズファイルが存在する場合は、[E01] と表示されます。
このとき、<UP>、<DOWN> を押して [y] を選択して <EXECUTE> を押すと、上書き保存できます。(→20ページ)
- ・レンズファイルがOFFの場合は、[E04] と表示されます。

- ・セットアップモードを終了する場合は、<EXIT> を約2秒押しします。
- ・他の設定を行う場合は、<SELECT> を押してメニュー番号を選択します。

4 レンズファイル メモリーカード保存/読み出し

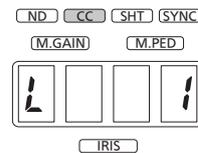
<SELECT> を押して、メニュー番号 [4] を選択する



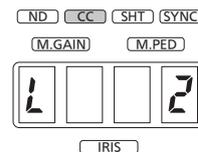
4-2 メモリーカードからのレンズファイルの読み出し

1. <SAVE/LOAD> を押して [CC] を選択する

- ・<SAVE/LOAD> を押すたびに、[ND] (保存) と [CC] (読み出し) が切り替わります。



2. <UP>、<DOWN> を押してメモリーカードのファイル番号を選択し、<EXECUTE> を押して選択を確定する



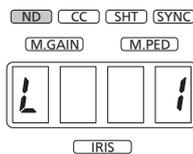
メモリーカードのファイル番号 2 を読み出す場合

4-1 レンズファイルのメモリーカードへの保存

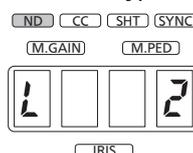
セットアップモードに移行する前に、ROPメニューで保存したいレンズファイルを呼び出してください。(→32ページ)

1. <SAVE/LOAD> を押して [ND] を選択する

- ・<SAVE/LOAD> を押すたびに、[ND] (保存) と [CC] (読み出し) が切り替わります。



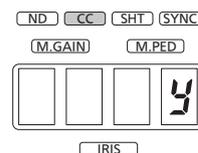
2. <UP>、<DOWN> を押してメモリーカードのファイル番号を選択し、<EXECUTE> を押して選択を確定する



メモリーカードのファイル番号 2 に保存する場合

3. <UP>、<DOWN> を押して [y] を選択し、<EXECUTE> を押して選択を確定する

- ・メモリーカードアクセス中は、メモリーカードを抜かないでください。



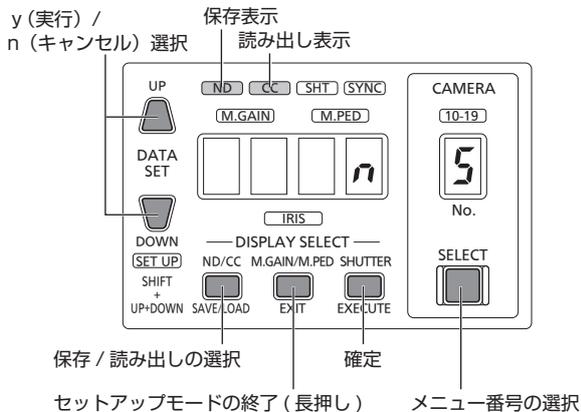
- ・ [n] を選択し、<EXECUTE> を押すと読み出しがキャンセルされます。
- ・メモリーカードからの読み出しを実行し、読み出しが完了すると [Fin] と表示されます。
- ・メモリーカードからの読み出しに失敗した場合は、[E02] と表示されます。(→20ページ)
この場合は、メモリーカードの状態を確認し、メモリーカード内にファイルが存在していることを確認した後、再度手順1から操作してください。

セットアップモードの操作 (つづき)

- セットアップモードを終了する場合は、<EXIT>を約2秒押しします。
- 他の設定を行う場合は、<SELECT>を押してメニュー番号を選択します。

5 ROP設定ファイル メモリーカード保存/読み出し

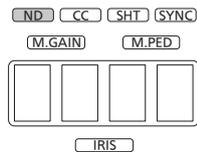
<SELECT>を押して、メニュー番号[5]を選択する



5-1 ROP設定ファイルのメモリーカードへの保存

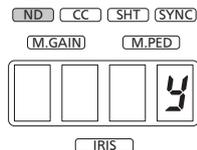
1. <SAVE/LOAD>を押して[ND]を選択する

- <SAVE/LOAD>を押すたびに、[ND] (保存)と [CC] (読み出し) が切り替わります。



2. <UP>、<DOWN>を押して[y]を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する

- メモリーカードアクセス中は、メモリーカードを抜かないでください。



- [n]を選択し、<EXECUTE>を押すと保存がキャンセルされます。
- メモリーカードへの保存を実行し、保存が完了すると [Fin]と表示されます。
- メモリーカードの保存に失敗した場合は、[E02]と表示されます。(→20ページ)
この場合は、メモリーカードの状態を確認して再度操作を実行するか、別のメモリーカードを挿入して再度操作を実行してください。
- メモリーカード内に、保存対象のROPファイルと同一ファイル名のROPファイルが存在する場合は、[E01]と表示されます。
このとき、<UP>、<DOWN>を押して[y]を選択して<EXECUTE>を押すと、上書き保存できます。(→20ページ)

<NOTE>

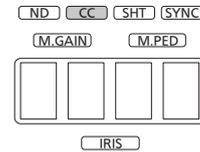
- セットアップモード、ROPセットアップソフトウェアで設定したデータがメモリーカードに保存されます。
- 以下のデータは保存されません。
 - 本機のIPアドレス
 - 本機のサブネットマスク
 - 本機のデフォルトゲートウェイ
 - 本機のポート設定
- セットアップモードを終了する場合は、<EXIT>を約2秒押しします。
- 他の設定を行う場合は、<SELECT>を押してメニュー番号を選択します。

5-2 メモリーカードからのROP設定ファイルの読み出し

ROP設定ファイルの読み出しでは、メモリーカードに保存してある設定データを読み出します。本機の動作モードと、メモリーカード内の動作モードが異なっていた場合、メモリーカード内に保存されていた動作モードに変更されます。

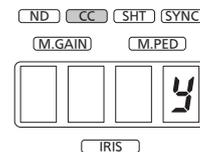
1. <SAVE/LOAD>を押して[CC]を選択する

- <SAVE/LOAD>を押すたびに、[ND] (保存)と [CC] (読み出し) が切り替わります。



2. <UP>、<DOWN>を押して[y]を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する

- メモリーカードからの読み出しを実行し、読み出しが完了すると [Fin]と表示され、数秒後に自動的に再起動します。
- メモリーカードアクセス中は、メモリーカードを抜かないでください。



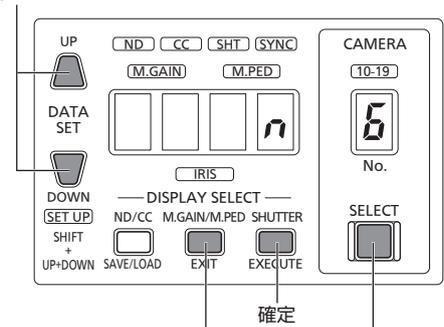
- [n]を選択し、<EXECUTE>を押すと読み出しがキャンセルされます。
- メモリーカードからの読み出しに失敗した場合は、[E02]と表示されます。(→20ページ)
この場合は、メモリーカードの状態を確認し、メモリーカード内にファイルが存在していることを確認した後、再度手順1から操作してください。

- セットアップモードを終了する場合は、<EXIT>を約2秒押しします。

6 メモリーカードフォーマット

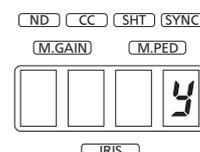
1. <SELECT>を押して、メニュー番号[6]を選択する

y (フォーマット実行) / n (キャンセル) 選択



2. <UP>、<DOWN>を押して[y]を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する

- フォーマットが開始されます。
- メモリーカードアクセス中は、メモリーカードを抜かないでください。



- [n]を選択し、<EXECUTE>を押すとフォーマットがキャンセルされます。
- フォーマットが完了すると [Fin]と表示されます。

セットアップモードの操作 (つづき)

- セットアップモードを終了する場合は、<EXIT>を約2秒押します。
- 他の設定を行う場合は、<SELECT>を押してメニュー番号を選択します。

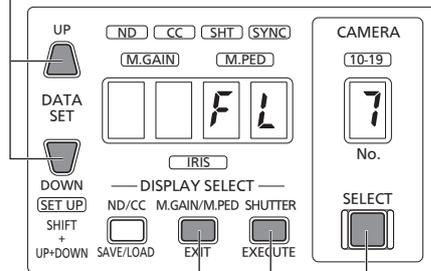
<NOTE>

フォーマットにより消去されたデータは、復元することができませんので、必ずデータを確認したあとに実行してください。

7 フレア/ペダスタル選択/設定

<SELECT>を押して、メニュー番号[7]を選択する

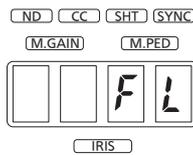
FL (フレア) / PE (ペダスタル) 選択



セットアップモードの終了 (長押し) メニュー番号の選択

7-1 フレアの設定

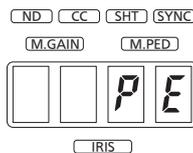
<UP>、<DOWN>を押して [FL] を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する



- セットアップモードを終了する場合は、<EXIT>を約2秒押します。
- 他の設定を行う場合は、<SELECT>を押してメニュー番号を選択します。

7-2 ペダスタルの設定

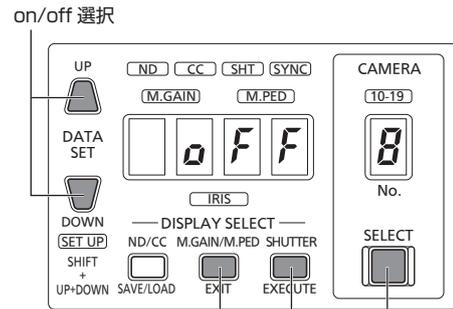
<UP>、<DOWN>を押して [PE] を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する



- セットアップモードを終了する場合は、<EXIT>を約2秒押します。
- 他の設定を行う場合は、<SELECT>を押してメニュー番号を選択します。

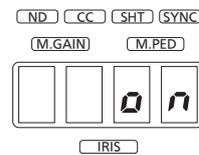
8 ブザー鳴動設定 (操作音/コール音)

1. <SELECT>を押して、メニュー番号[8]を選択する



セットアップモードの終了 (長押し) メニュー番号の選択

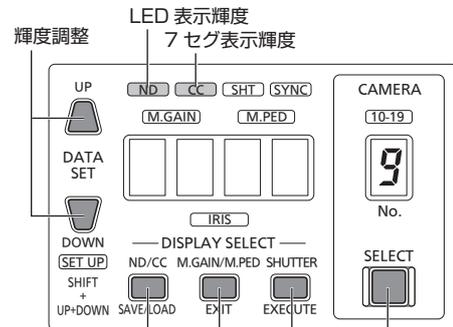
2. <UP>、<DOWN>を押して [on] を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する



- セットアップモードを終了する場合は、<EXIT>を約2秒押します。
- 他の設定を行う場合は、<SELECT>を押してメニュー番号を選択します。

9 表示輝度設定 (LED/7セグ)

<SELECT>を押して、メニュー番号[9]を選択する

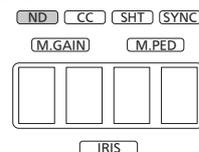


LED/7セグの切り替え 確定 セットアップモードの終了 (長押し) メニュー番号の選択

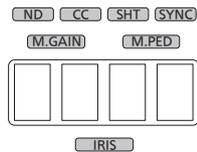
9-1 LEDの表示輝度設定

1. <SAVE/LOAD>を押して、[ND] を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する

- <SAVE/LOAD>を押すたびに、[ND] (LED表示輝度) と [CC] (7セグ表示輝度) が切り替わります。



2. <UP>、<DOWN>を押してLEDの輝度を調整し、<EXECUTE>を押して確定する

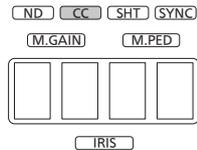


- セットアップモードを終了する場合は、<EXIT>を約2秒押します。
- 他の設定を行う場合は、<SELECT>を押してメニュー番号を選択します。

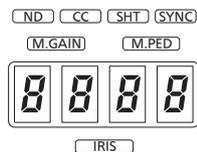
9-2 7セグの表示輝度設定

1. <SAVE/LOAD>を押して [CC] を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する

- <SAVE/LOAD>を押すたびに、[ND] (LED表示輝度) と [CC] (7セグ表示輝度) が切り替わります。



2. <UP>、<DOWN>を押して7セグの輝度を設定し、<EXECUTE>を押して確定する

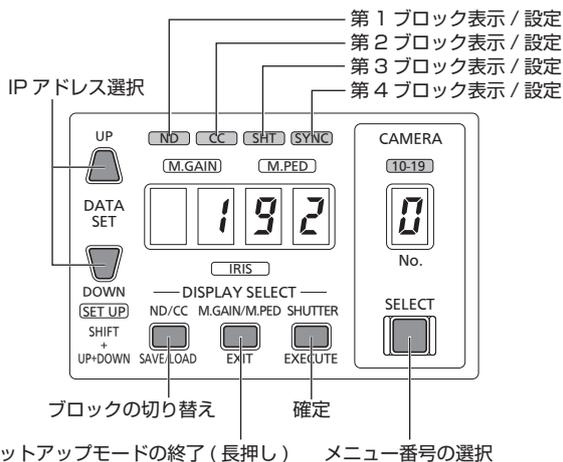


- セットアップモードを終了する場合は、<EXIT>を約2秒押します。
- 他の設定を行う場合は、<SELECT>を押してメニュー番号を選択します。

10 IPアドレス設定

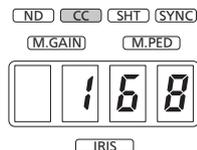
1. <SELECT>を押して、メニュー番号 [10] を選択する

- IPアドレスの第一ブロックが表示されます。



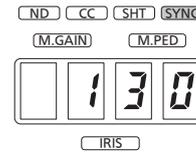
2. <SAVE/LOAD>を押して [CC]、[SHT]、[SYNC] を選択する

- 第1ブロック、第2ブロック、第3ブロック、第4ブロックと順に表示が切り替わります。
- IPアドレスを変更する場合は、<UP>、<DOWN>を押してブロックごとに変更を行ってください。



3. <SHUTTER>を押してIPアドレスの設定を確定する

- 第4ブロックを表示中に<SHUTTER>を押すと、設定が確定します。

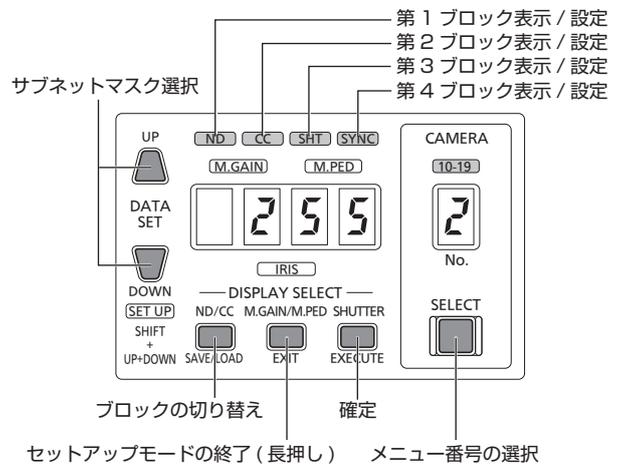


- セットアップモードを終了する場合は、<EXIT>を約2秒押します。
- IPアドレスの設定値が変更されている場合は、セットアップモードを終了すると自動で再起動します。設定値が変更されていない場合は再起動しません。
- 他の設定を行う場合は、<SELECT>を押してメニュー番号を選択します。

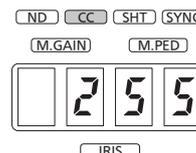
11 サブネットマスク設定

1. <SELECT>を押して、メニュー番号 [11] を選択する

- サブネットマスクの第一ブロックが表示されます。

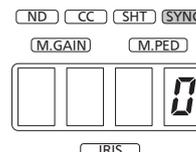


2. <SAVE/LOAD>を押して [CC]、[SHT]、[SYNC] を選択する



- 第1ブロック、第2ブロック、第3ブロック、第4ブロックと順に表示が切り替わります。
- サブネットマスクを変更する場合は、<UP>、<DOWN>を押してブロックごとに変更を行ってください。

3. <SHUTTER>を押してサブネットマスクの設定を確定する

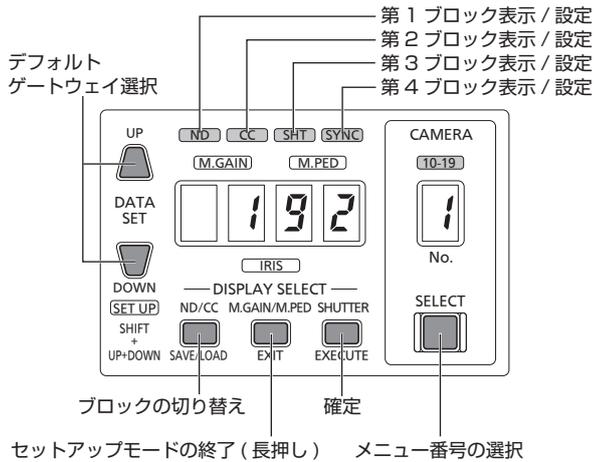


- 第4ブロックを表示中に<SHUTTER>を押すと設定が確定します。
- セットアップモードを終了する場合は、<EXIT>を約2秒押します。
- サブネットマスクの設定値が変更されている場合は、セットアップモードを終了すると自動で再起動します。設定値が変更されていない場合は再起動しません。
- 他の設定を行う場合は、<SELECT>を押してメニュー番号を選択します。

12 デフォルトゲートウェイ設定

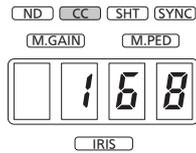
1. <SELECT>を押して、メニュー番号[12]を選択する

- デフォルトゲートウェイの第1ブロックが表示されます。



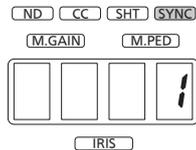
2. <SAVE/LOAD>を押して[CC]、[SHT]、[SYNC]を選択する

- 第1ブロック、第2ブロック、第3ブロック、第4ブロックと順に表示が切り替わります。
- デフォルトゲートウェイを変更する場合は、<UP>、<DOWN>を押してブロックごとに変更を行ってください。



3. <SHUTTER>を押してデフォルトゲートウェイの設定を確定する

- 第4ブロックを表示中に<SHUTTER>を押すと設定が確定します。



- セットアップモードを終了する場合は、<EXIT>を約2秒押しします。
- デフォルトゲートウェイの設定値が変更されている場合は、セットアップモードを終了すると自動で再起動します。設定値が変更されていない場合は再起動しません。
- 他の設定を行う場合は、<SELECT>を押してメニュー番号を選択します。

■ 設定可能なアドレスについて

192.	168.	0.	130
第1ブロック	第2ブロック	第3ブロック	第4ブロック

IPアドレスは以下の範囲の値を設定することができます。

第1ブロック	1~223
第2ブロック	0~255
第3ブロック	0~255
第4ブロック	1~254

ただし、上記範囲内であっても「127.0.0.1」は設定できません。

サブネットマスクは以下の範囲の値を設定することができます。

第1ブロック	0~255
第2ブロック	0~255
第3ブロック	0~255
第4ブロック	0~255

ただし、上記範囲内であっても「0.0.0.0」と「127.0.0.1」は設定できません。

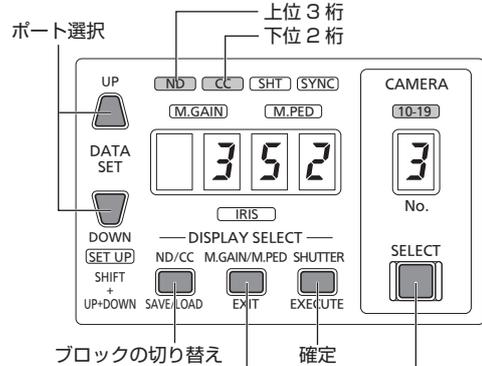
デフォルトゲートウェイは以下の範囲の値を設定することができます。

第1ブロック	0~255
第2ブロック	0~255
第3ブロック	0~255
第4ブロック	0~255

13 ポート設定

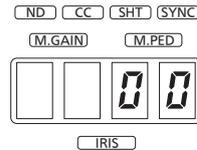
1. <SELECT>を押して、メニュー番号[13]を選択する

- ポート番号の3桁が表示されます。



2. <SAVE/LOAD>を押して[CC]を選択する

- 次の2ケタに表示が切り替わります。



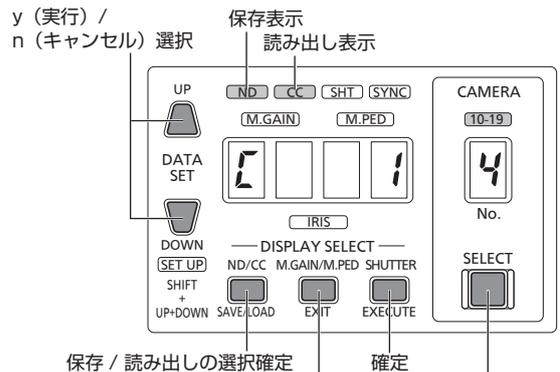
- <UP>、<DOWN>を押してブロックごとに変更を行ってください。
- <SHUTTER>を押すと設定が確定します。
- ポート番号は35200 ~ 35599の範囲で設定することができます。

- セットアップモードを終了する場合は、<EXIT>を約2秒押しします。
- ポート番号の設定値が変更されている場合は、セットアップモードを終了すると自動で再起動します。設定値が変更されていない場合は再起動しません。
- 他の設定を行う場合は、<SELECT>を押してメニュー番号を選択します。

14 リモートカメラ設定ファイル保存/読み出し

リモートカメラが記憶しているデータをメモリーカードに保存できます。

<SELECT>を押して、メニュー番号[14]を選択する



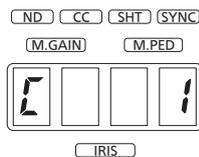
保存 / 読み出しの選択確定 確定

セットアップモードの終了(長押し) メニュー番号の選択

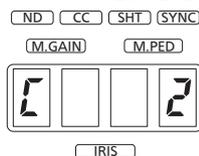
リモートカメラ設定ファイルのメモリーカードへの保存

1. <SAVE/LOAD>を押して [ND] を選択する

- <SAVE/LOAD>を押すたびに、[ND] (保存) と [CC] (読み出し) が切り替わります。



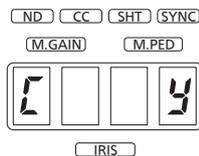
2. <UP>、<DOWN>を押してメモリーカードのファイル番号を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する



メモリーカードのファイル番号2 に保存する場合

3. <UP>、<DOWN>を押して [y] を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する

- メモリーカードアクセス中は、メモリーカードを抜かないでください。



- [n] を選択し、<EXECUTE>を押すと保存がキャンセルされます。
- メモリーカードへの保存を実行し、保存が完了すると [Fin] と表示されます。
- メモリーカードの保存に失敗した場合は、[E02] と表示されます。この場合は、メモリーカードの状態を確認して再度操作を実行するか、別のメモリーカードを挿入して再度操作を実行してください。
- メモリーカード内に、保存対象のリモートカメラ設定ファイルと同一ファイル名のリモートカメラ設定ファイルが存在する場合は、[E01] と表示されます。このとき、<UP>、<DOWN>を押して [y] を選択して<EXECUTE>を押すと、上書き保存できます。

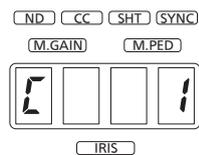
- セットアップモードを終了する場合は、<EXIT>を約2秒押します。
- 他の設定を行う場合は、<SELECT>を押してメニュー番号を選択します。

メモリーカードからのリモートカメラ設定ファイルの読み出し

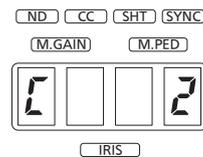
メモリーカードから読み出しリモートカメラ設定ファイルのデータは、運用状態に展開されます。

1. <SAVE/LOAD>を押して [CC] を選択する

- <SAVE/LOAD>を押すたびに、[ND] (保存) と [CC] (読み出し) が切り替わります。



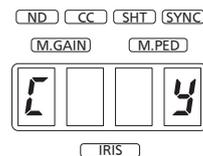
2. <UP>、<DOWN>を押してメモリーカードのファイル番号を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する



メモリーカードのファイル番号2 を読み出す場合

3. <UP>、<DOWN>を押して [y] を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する

- メモリーカードアクセス中は、メモリーカードを抜かないでください。



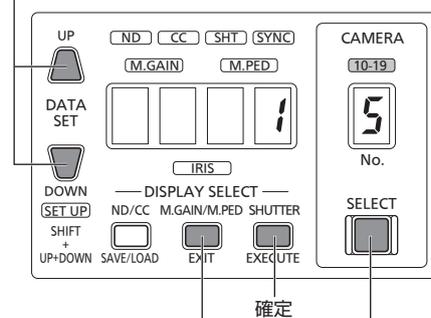
- [n] を選択し、<EXECUTE>を押すと読み出しがキャンセルされます。
- メモリーカードからの読み出しを実行し、読み出しが完了すると [Fin] と表示されます。
- メモリーカードからの読み出しに失敗した場合は、[E02] と表示されます。この場合は、メモリーカードの状態を確認し、メモリーカード内にファイルが存在していることを確認した後、再度手順1から操作してください。

- セットアップモードを終了する場合は、<EXIT>を約2秒押します。
- 他の設定を行う場合は、<SELECT>を押してメニュー番号を選択します。

15 シリアル設定

<SELECT>を押して、メニュー番号 [15] を選択する

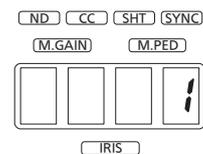
- 1 (CCU シリアルの選択) /
- 2 (リモートカメラシリアルの選択)



セットアップモードの終了 (長押し) メニュー番号の選択

CCU シリアルの設定

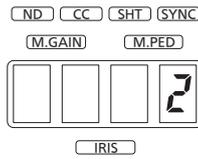
<UP>、<DOWN>を押して [1] を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する



- 確定後、自動的に再起動します。

リモートカメラシリアルの設定

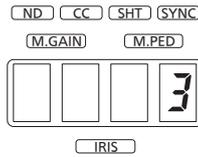
<UP>、<DOWN>を押して[2]を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する



- ・確定後、自動的に再起動します。

カメラレコーダーシリアルの設定

<UP>、<DOWN>を押して[3]を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する



- ・確定後、自動的に再起動します。

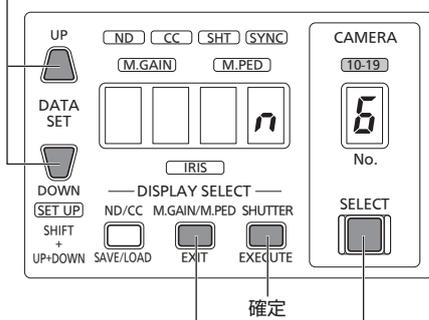
16 設定初期化

<NOTE>

設定の初期化を実行すると、自動的に再起動します。初期化対象の設定は8ページを参照してください。

1. <SELECT>を押して、メニュー番号[16]を選択する

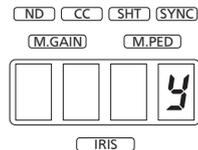
y (初期化) / n (キャンセル) 選択



セットアップモードの終了 (長押し) メニュー番号の選択

2. <UP>、<DOWN>を押して「y」を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する

- ・確定後、本機の設定が初期化され、自動的に再起動します。

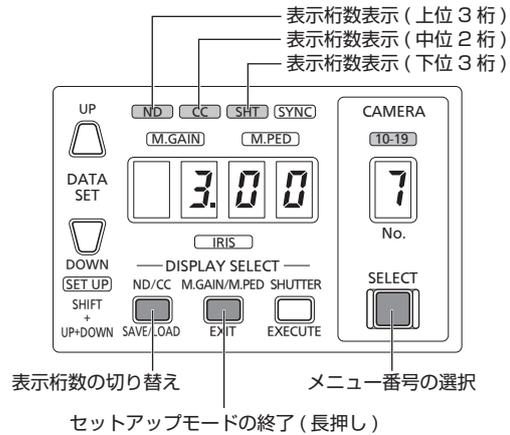


- ・[n]を選択し、<EXECUTE>を押すと初期化がキャンセルされます。

17 バージョン確認

<SELECT>を押して、メニュー番号[17]を選択する

- ・バージョンが表示されます。
- ・<SAVE/LOAD>を押すと、8桁のバージョンを3桁、2桁、3桁と分けて表示します。



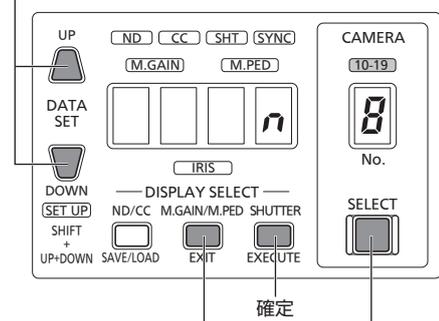
- ・セットアップモードを終了する場合は、<EXIT>を約2秒押します。
- ・他の設定を行う場合は、<SELECT>を押してメニュー番号を選択します。

18 機器情報メモリーカード保存

本機能はメーカーメンテナンス用です。

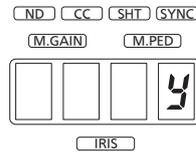
1. <SELECT>を押して、メニュー番号[18]を選択する

y (保存) / n (キャンセル) 選択



セットアップモードの終了 (長押し) メニュー番号の選択

2. <UP>、<DOWN>を押して「y」を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する



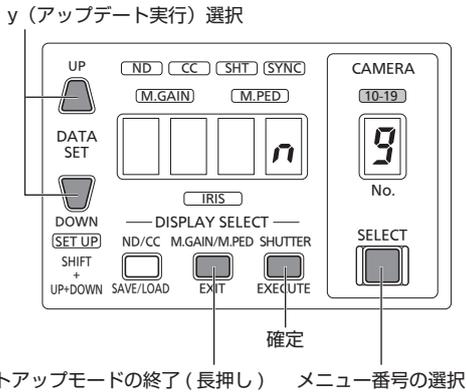
- ・メモリーカードへの保存を実行し、保存が完了すると[Fin]と表示されます。
- ・メモリーカードの保存に失敗した場合は、[E02]と表示されます。(→20ページ)
この場合は、メモリーカードの状態を確認して再度操作を実行するか、別のメモリーカードを挿入して再度操作を実行してください。
- ・メモリーカード内に、保存対象の機器情報ファイルと同一ファイル名の機器情報ファイルが存在する場合は、[E01]と表示されます。このとき、<UP>、<DOWN>を押して「y」を選択して<EXECUTE>を押すと、上書き保存できます。(→20ページ)

- ・セットアップモードを終了する場合は、<EXIT>を約2秒押します。
- ・他の設定を行う場合は、<SELECT>を押してメニュー番号を選択します。

19 ソフトウェアアップデート

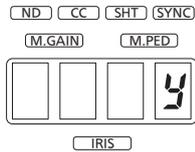
ソフトウェアアップデートの詳細は、「アップグレード用ソフトウェアについて」(→3ページ)を参照してください。

1. <SELECT>を押して、メニュー番号[19]を選択する



2. <UP>、<DOWN>を押して[y]を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する

- アップデートが開始されます。



- アップデートが終了すると[Fin]と表示され、自動的に再起動します。

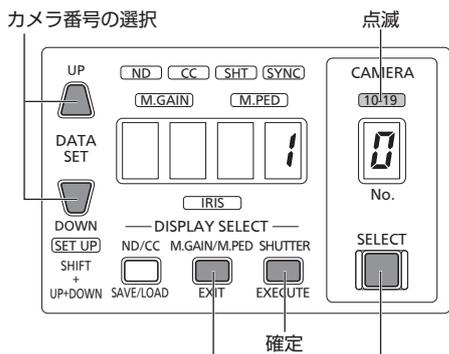
<NOTE>

アップデート中に何らかの不具合が発生した場合、再起動後に<SHIFT>が点滅することがあります。この場合は、再度アップデート操作を行ってください。

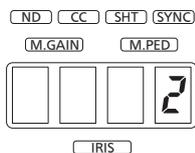
20 タリーナンバー設定

タリー入りに割り当てるカメラナンバーの設定を行います。

1. <SELECT>を押して、メニュー番号[20]を選択する



2. <UP>、<DOWN>を押してカメラナンバーを選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する

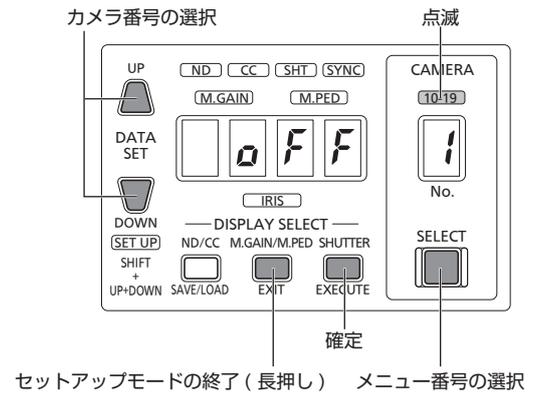


- セットアップモードを終了する場合は、<EXIT>を約2秒押します。
- 他の設定を行う場合は、<SELECT>を押してメニュー番号を選択します。

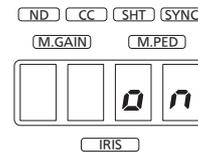
21 タリー出力設定

本機からリモートカメラへのタリー情報送信の設定を行います。

1. <SELECT>を押して、メニュー番号[21]を選択する



2. <UP>、<DOWN>を押して[on]を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する

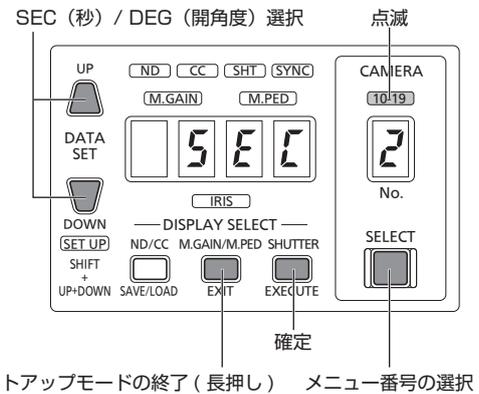


- セットアップモードを終了する場合は、<EXIT>を約2秒押します。
- 他の設定を行う場合は、<SELECT>を押してメニュー番号を選択します。

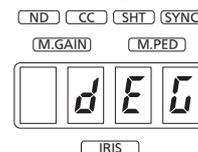
22 シンクロシャッター表示設定

カメラレコーダーのシンクロシャッター速度表示を、秒(SEC)で行うか、開角度(DEG)で行うかを設定します。

1. <SELECT>を押して、メニュー番号[22]を選択する



2. <UP>、<DOWN>を押して[SEC]または[dEG]を選択し、<EXECUTE>を押して選択を確定する

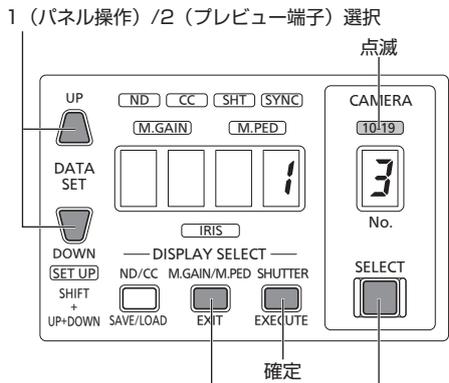


- セットアップモードを終了する場合は、<EXIT>を約2秒押します。
- 他の設定を行う場合は、<SELECT>を押してメニュー番号を選択します。

23 タリー制御設定 (カメラレコーダーのみの設定)

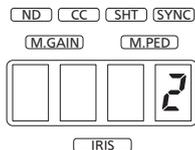
タリーの制御を、パネルからの操作か、プレビュー端子からの入力かを設定します。

1. <SELECT> を押して、メニュー番号 [23] を選択する



セットアップモードの終了 (長押し) メニュー番号の選択

2. <UP>、<DOWN> を押して設定番号を選択し、<EXECUTE> を押して選択を確定する



・他の設定を行う場合は、<SELECT> を押してメニュー番号を選択します。

セットアップモード時のエラー表示

エラー番号	エラー内容
E01	同名のファイルが存在しています。上書きする場合は [y] を選択してください。
E02	メモリーカードでエラーが発生しました。 ・ファイルが存在していますか？ ・プロテクトはかかっていますか？ ・メモリーカードに空き容量はありますか？ ・SDXCカードを使用していないか？ ・メモリーカードのファイルフォーマットが正しくない可能性があります。 ・メモリーカードのフォーマット異常の可能性があります。
E03	メモリーカードが未挿入です。
E04	・通信時にエラーが発生しました。接続機器をご確認ください。 ・レンズファイルがOFFの状態です。 ・カメラ、CCUと未接続状態、および制御権が無効な状態です。(制御権については取扱説明書<基本編>を参照してください)
E05	エラーが発生しました。再度、最初から操作を実行してください。

■メモリーカードに同一ファイル名のファイルが存在する場合

メモリーカード内に、保存対象のファイルと同一ファイル名のファイルが存在する場合は、[E01]と表示されます。
 このとき、<UP>、<DOWN> を押して [y] を選択して <EXECUTE> を押すと、上書き保存できます。

■E02～E05が表示された場合

<EXECUTE> を押すとエラー表示が消えますので、操作をやり直してください。

ROPメニュー操作

本機から操作できるROPメニューについて

本機からCCUのピクチャーモニターを使用して、ROPメニュー (REMOTE OPERATION MENU) を操作できます。

<NOTE>

ROPメニューの操作は、本機をAK-HCU200と接続したときに有効となる機能です。

■メニュー表示のしかたとメニュー構成

<CHARA/MENU> を約 2 秒間長押しすると、
[REMOTE OPERATION MENU] が表示されます。
再度、約 2 秒間長押しすると、
[REMOTE OPERATION MENU] から抜けます。



<SELECT> の操作でメニューを選択します。

REMOTE OPERATION MENU	
←→	SHADING(WHITE)
←→	PEDESTAL/FLARE/GAIN
←→	GAMMA/BLACK. GAMMA
←→	CINEMA GAMMA
←→	KNEE/WHITE CLIP
←→	COLOR CONTROL
←→	MATRIX
←→	HD DTL/SKIN DTL
←→	SD DETAIL
←→	SYSTEM
←→	FUNCTION
←→	LENS FILE/EDIT
←→	ROP SD CARD

ピクチャーモニターに以下が表示されているときは、メニューを表示できません。

- WARNING表示
- AUTO表示
- STATUS表示

この場合、<CHARA/MENU>を長押しして、表示を解除した後に操作を行ってください。

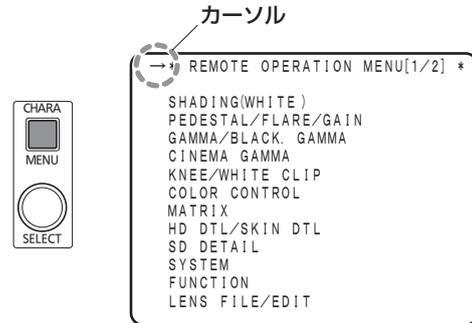
カメラ電源<HEAD POWER>がOFFのときは、[SYSTEM]のみが選択可能です。

ROPメニュー操作のしかた

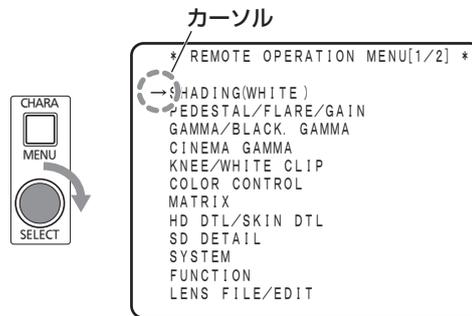
■基本的なメニュー操作のしかた

1. <CHARA/MENU>を約2秒間長押しする

[REMOTE OPERATION MENU]が表示されます。(先頭行にカーソルがあります)

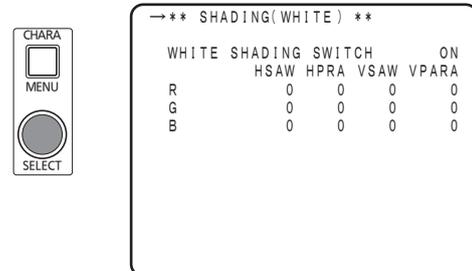


2. <SELECT>を右に1クリック回してカーソルを移動する



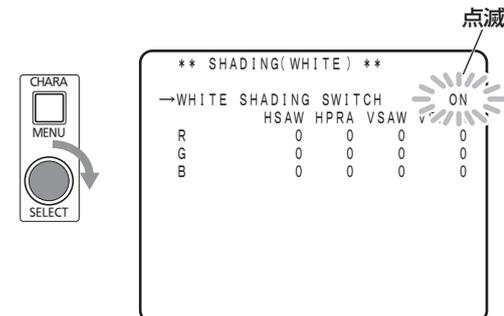
3. <SELECT>を押してメニューを選択する

[SHADING(WHITE)]メニューが表示されます。
この状態(メニュータイトルにカーソルがある状態)で<SELECT>を押すとひとつ上位のメニュー([ROP MENU])に戻ります。



4. <SELECT>を回して各設定項目にカーソルを移動し、<SELECT>を押す

選択されている設定項目が点滅し、設定値を変更できます。



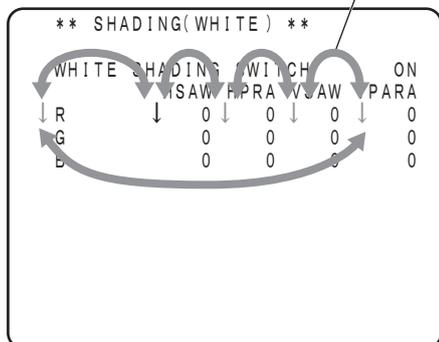
<NOTE>

<SELECT>をすばやく回すと、設定値の百の位が変化します。

■その他のメニュー操作のしかた

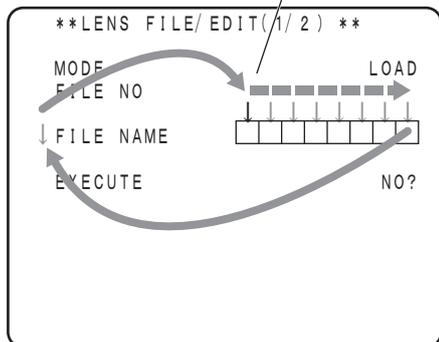
メニュー項目内で、1行に複数の設定項目がある場合には、
 <SELECT>を押す(確定する)とカーソルが[↓]の表示に変わります。
 <SELECT>操作(左右に回す)すると、入力エリアを移動していきます。

カーソルが移動します

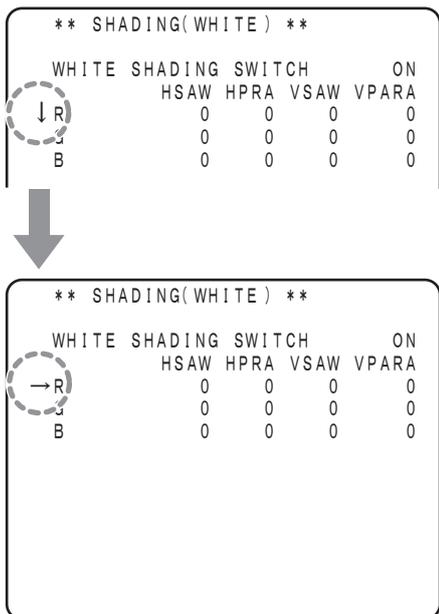


文字入力を行うメニューでもカーソルが[↓]の表示になります。

カーソルが移動します



メニュー項目の先頭にカーソルがある状態で、確定するとカーソルが
 [→]に変わり、メニュー項目の選択状態に戻ります。



ROPメニュー設定項目

「ROP MENU」の各設定項目について示します。

SHADING(WHITE)

```

→** SHADING(WHITE) **

WHITE SHADING SWITCH      ON
      HSAW  HPARA  VSAW  VPARA
R          0    0    0    0
G          0    0    0    0
B          0    0    0    0
    
```

(_は工場出荷時の設定です)

項目	表示範囲	機能
WHITE SHADING SWITCH	OFF ON	ホワイトシェーディングの有効/無効設定です。
H SAW R	-100 0 100	白画面映像の水平方向ののこぎり波補正です。
H SAW G		
H SAW B		
H PARA R	-100 0 100	白画面映像の水平方向のパラボラ補正です。
H PARA G		
H PARA B		
V SAW R	-100 0 100	白画面映像の垂直方向ののこぎり波補正です。
V SAW G		
V SAW B		
V PARA R	-100 0 100	白画面映像の垂直方向のパラボラ補正です。
V PARA G		
V PARA B		

PEDESTAL/FLARE/GAIN

```

→** PEDESTAL/FLARE/GAIN **

FLARE SWITCH                ON

      R      G      B
PEDESTAL      0    0    0
FLARE         0    0    0
GAIN          0    0    0

MASTER PEDESTAL          0
    
```

(_は工場出荷時の設定です)

項目	表示範囲	機能
FLARE SWITCH	OFF ON	フレア補正の補正量を調整する場合にONにします。フレア補正は、光量に比例してペDESTALが上がるのを抑制する機能です。
MASTER PEDESTAL	-99 0 99	設定されているマスターペDESTALの値を表示します。(設定はできません)
PEDESTAL R	-800 0 800	ブロックバランスをとったときのPEDESTAL Gレベルを基準とする増減量で、オートブラックバランスをとると調整値は0になります。
PEDESTAL G	-800 0 800	マスターペDESTALからのGペDESTALオフセット量が調整できます。
PEDESTAL B	-800 0 800	ブロックバランスをとったときのPEDESTAL Gレベルを基準とする増減量で、オートブラックバランスをとると調整値は0になります。
FLARE R	-100 0 100	FLARE Rの補正量を調整します。
FLARE G	-100 0 100	FLARE Gの補正量を調整します。
FLARE B	-100 0 100	FLARE Bの補正量を調整します。
GAIN R	-800 0 800	ホワイトバランスを調整します。Gゲインを基準とするRゲインの増減量で、オートホワイトバランスをとると調整値は0になります。
GAIN B	-800 0 800	ホワイトバランスを調整します。Gゲインを基準とするBゲインの増減量で、オートホワイトバランスをとると調整値は0になります。

GAMMA/BLACK. GAMMA

```

→** GAMMA/BLACK. GAMMA **

GAMMA SWITCH                ON
GAMMA MODE SEL              HD
      R      M      B
GAMMA      0 0. 4 5 0      0

BLACK GAMMA SWITCH          OFF
      R      M      B
BLACK GAMMA      0      0      0

DRS SWITCH                   OFF
  EFFECT DEPTH               5
  PRE-CORRECTION             4. 5
    
```

(_は工場出荷時の設定です)

項目	表示範囲	機能
GAMMA SWITCH	OFF ON	ガンマを補正する場合にONにします。 ガンマはテレビの映像信号入力と発光レベルの特性の逆の特性を映像信号の信号レベルに与える機能です。
GAMMA MODE SEL	HD FILMLIKE1 FILMLIKE2 FILMLIKE3	ガンマ特性の種類を設定します。
GAMMA R	●[GAMMA MODE SEL]が[HD]のとき、[CINEMA GAMMA SWITCH]が[ON]のとき -75 0 75 ●[GAMMA MODE SEL]が[FILMLIKE1]～[FILMLIKE3]のとき -60 0 60	GAMMA M設定を基準にRガンマ補正を調整します。

項目	表示範囲	機能
GAMMA M	●[GAMMA MODE SEL]が[HD]のとき 0.30 0.45 0.60 ●[CINEMA GAMMA SWITCH]が[ON]のとき 0.15 0.45 0.75 ●[GAMMA MODE SEL]が[FILMLIKE1]～[FILMLIKE3]のとき 0.300 0.450 0.750	マスターガンマを調整します。
GAMMA B	●[GAMMA MODE SEL]が[HD]のとき、[CINEMA GAMMA SWITCH]が[ON]のとき -75 0 75 ●[GAMMA MODE SEL]が[FILMLIKE1]～[FILMLIKE3]のとき -60 0 60	GAMMA M設定を基準にBガンマ補正を調整します。
BLACK GAMMA SWITCH	OFF ON	ブラックガンマを補正する場合にONにします。 ブラックガンマは低光量部分での映像信号増幅率を変更します。
BLACK GAMMA R	-20(黒圧縮) 0 20(黒伸張)	ブラックガンマカーブRを補正します。
BLACK GAMMA M	-32(黒圧縮) 0 32(黒伸張)	ブラックガンマを補正します。
BLACK GAMMA B	-20(黒圧縮) 0 20(黒伸張)	ブラックガンマカーブBを補正します。
DRS SWITCH	OFF ON	コントラストの自動調整をする場合にONにします。 ガンマ補正を最適可変する適合型ガンマ補正です。

ROPメニュー設定項目 (つづき)

項目	表示範囲	機能
EFFECT DEPTH	1 5	コントラスト効果調整を行う場合にONにします。 数値が大きいかほど効果があがります。
PRE-CORRECTION	4.0 4.5 5.0	低輝度部分の立上りの傾き調整を行う場合にONにします。

CINEMA GAMMA

<NOTE>

- [CINEMA GAMMA SWITCH]を[OFF]に設定したときは、このメニューの設定項目は使用できません。

```

→** CINEMA GAMMA **

CINEMA GAMMA SWITCH      OFF
CINEMA GAMMA SEL        VIDEO_REC
BLACK STRETCH LEVEL      0
DYNAMIC LEVEL            200%

KNEE POINT                30
KNEE SLOPE                150%
    
```

(__は工場出荷時の設定です)

項目	表示範囲	機能
CINEMA GAMMA SWITCH	OFF ON	シネマガンマモードの有効/無効を設定します。
CINEMA GAMMA SEL	FILM_REC VIDEO_REC	シネマガンマの特性を切り替えます。
BLACK STRETCH LEVEL	0 30	[CINEMA GAMMA SWITCH]が[ON]で、かつ[CINEMA TYPE]が[FILM]のときのみ選択可能です。
DYNAMIC LEVEL	200%/300%/ 400%/500%	ダイナミックレンジを設定します。 [CINEMA TYPE]が[FILM]のときのみ選択可能です。
KNEE POINT*1	30 90	マスターニーポイントを設定します。
KNEE SLOPE*1	150%/200%/ 250%/300%/ 350%/400%/ 450%/500%/ 550%/600%	マスターニースローブを設定します。

- *1 ニーOFFボタン<KNEE OFF>がON、または[KNEE/WHITE CLIP]メニューの[KNEE SWITCH]が[OFF]の場合は、設定変更ができません。

KNEE/WHITE CLIP

<NOTE>

- このメニューの設定項目は[CINEMA GAMMA SWITCH]が[ON]のときに使用できない項目があります。

```

→** KNEE/WHITE CLIP **

KNEE SWITCH                ON
                           R    M    B
POINT                      0 95.0% 0
SLOPE                      0 130%  0

WHITE CLIP SWITCH         ON
                           R    M    B
CLIP                       0 109%  0

HI COLOR                    OFF
    
```

(__は工場出荷時の設定です)

項目	表示範囲	機能
KNEE SWITCH	OFF/ON	ニースローブとニーポイントを調整する場合にONにします。
POINT R	-20 0 20	Rニーポイントを設定します。
POINT M	80.0% 95.0% 110.0%	マスターニーポイントを設定します。
POINT B	-20 0 20	Bニーポイントを設定します。
SLOPE R	-31 0 31	Rニースローブを設定します。
SLOPE M	0 130 199	マスターニースローブを設定します。
SLOPE B	-31 0 31	Bニースローブを設定します。
WHITE CLIP SWITCH	OFF ON	ホワイトクリップの有効/無効を設定します。
CLIP R	-15 0 15	Rホワイトクリップを設定します。
CLIP M	80% 109%	マスターホワイトクリップを設定します。
CLIP B	-15 0 15	Bホワイトクリップを設定します。
HI COLOR	OFF ON	ONにすると高輝度部分の色再現性を改善します。

COLOR CONTROL

```

→** COLOR CONTROL **

CHROMA LEVEL SWITCH      OFF
CHROMA LEVEL              0%

COLOR TEMP SWITCH        OFF
COLOR TEMP VALUE         3200
    
```

(_は工場出荷時の設定です)

項目	表示範囲	機能
CHROMA LEVEL SWITCH	<u>OFF</u> ON	クロマのゲインを調整するとき にONにします。
CHROMA LEVEL	-100% <u>0%</u> 40%	クロマのゲインを調整します。
COLOR TEMP SWITCH	<u>OFF</u> ON	色温度を手動で調整時にONに します。
COLOR TEMP VALUE	2300 <u>3200</u> 15000	[COLOR TEMP SWITCH]が [ON]のときの色温度を調整しま す。 ・アンダー、オーバーのときは 右端に「↓」、「↑」が反転文字 で表示されます。

MATRIX(1/2)

```

→** MATRIX(1/2) **

PRESET                    NORMAL

MATRIX SWITCH            OFF

MEMORY                   A
R-G                      0
R-B                      0
G-R                      0
G-B                      0
B-R                      0
B-G                      0
    
```

(_は工場出荷時の設定です)

項目	表示範囲	機能
PRESET	<u>NORMAL</u> EBU NTSC	マトリクスプリセットを切り 替えます。
MATRIX SWITCH	<u>OFF</u> ON	彩度と色相を補正する機能の有 効/無効を設定します。
MEMORY	<u>OFF</u> A B	調整するマトリクスメモリを切 り替えます。
R-G	-63 <u>0</u> 63	マトリクスメモリのR-G成分の 彩度と色相を調整します。
R-B	-63 <u>0</u> 63	マトリクスメモリのR-B成分の 彩度と色相を調整します。
G-R	-63 <u>0</u> 63	マトリクスメモリのG-R成分の 彩度と色相を調整します。
G-B	-63 <u>0</u> 63	マトリクスメモリのG-B成分の 彩度と色相を調整します。
B-R	-63 <u>0</u> 63	マトリクスメモリのB-R成分の 彩度と色相を調整します。
B-G	-63 <u>0</u> 63	マトリクスメモリのB-G成分の 彩度と色相を調整します。

MATRIX (2/2)

```

→** MATRIX( 2/2 ) **

12AXIS MEMORY          A
SAT PHASE              SAT PHASE
G      0      0  G_Cy   0      0
Cy     0      0  Cy_B   0      0
B      0      0  B_Mg   0      0
Mg     0      0  Mg_R   0      0
R      0      0  R_Ye  0      0
Ye     0      0  Ye_G   0      0
    
```

(__は工場出荷時の設定です)

項目	表示範囲	機能
12AXIS MEMORY	OFF A B	調整する12軸マトリクスメモリを切り替えます。
G SAT	-63 0 63	12軸マトリクスメモリの各色成分の彩度を調整します。 ・[12AXIS MEMORY]が[OFF]のときは使用できません。
G_Cy SAT		
Cy SAT		
Cy_B SAT		
B SAT		
B_Mg SAT		
Mg SAT		
Mg_R SAT		
R SAT		
R_Ye SAT		
Ye SAT		
Ye_G SAT		
G PHASE	-63 0 63	12軸マトリクスメモリの各色成分の色相を調整します。 ・[12AXIS MEMORY]が[OFF]のときは使用できません。
G_Cy PHASE		
Cy PHASE		
Cy_B PHASE		
B PHASE		
B_Mg PHASE		
Mg PHASE		
Mg_R PHASE		
R PHASE		
R_Ye PHASE		
Ye PHASE		
Ye_G PHASE		

HD DTL/SKIN DTL (1/2)

```

→** HD DTL/SKIN DTL( 1/2 ) **

DETAIL SWITCH          ON
V DETAIL              20
H DETAIL              20
CRISP                 10
PEAK FREQUENCY       17.3
LEVEL DEPENDENT      8%
DARK DETAIL          0
SOURCE                (R+G)/2
CLIP                  (+) 0 (-) 0
KNEE DETAIL          0
GAIN                  (+) 0 (-) 0
    
```

(__は工場出荷時の設定です)

項目	表示範囲	機能
DETAIL SWITCH	OFF ON	HD DETAILの効果の有効/無効を設定します。
V DETAIL	0 20 63	垂直ディテールレベルを調整します
H DETAIL	0 20 63	水平ディテールレベルを調整します
CRISP	0 10 63	ディテール成分から除かれる微小ノイズ成分の最大振幅を設定します
PEAK FREQUENCY	12.4/12.5/ 12.7/12.9/ 13.0/13.3/ 13.6/13.9/ 14.2/14.6/ 15.0/15.5/ 16.1/16.7/ 17.3/18.0/ 18.6/18.8/ 19.0/19.2/ 19.5/19.9/ 20.3/20.9/ 21.5/22.4/ 23.6/25.4/ 28.6/37.1	輪郭補正帯域(ブースト周波数あるいはピーク周波数)を選択します。輪郭の太さが変更されます。
LEVEL DEPENDENT	0% 8% 30%	暗部のディテールを落とす機能です。レベルを調整します。
DARK DETAIL	0 7	暗部にかかるディテールを強調します。
SOURCE	(R+G)/2 (G+B)/2 (2G+R+B)/4 (3G+R)/4 R G	ディテール成分を作る源信号を選択します。
+CLIP	0 63	ディテールエッジ成分のオーバーシュート部分の長さを制限します。
-CLIP	0 63	ディテールエッジ成分のアンダーシュート部分の長さを制限します。
KNEE DETAIL	0 39	ニーディテールを強調します。

ROPメニュー設定項目 (つづき)

項目	表示範囲	機能
+GAIN	-31 0 31	ディテールの+ (上) 方向のレベルを変更します。
-GAIN	-31 0 31	ディテールの- (下) 方向のレベルを変更します。

HD DTL/SKIN DTL (2/2)

```

→** HD DTL/SKIN DTL (2/2) **

SKIN DETAIL SWITCH          OFF
CURSOR      ON/OFF      H   V
                OFF  960  270

SKIN GET          NO?
MEMORY SELECT    A
  CRISP  PHASE  WIDTH  SATU
  A    0    0    0    0
  B    0    0    0    0

ZEBRA SWITCH          OFF
EFFECT MEMORY        A+B
    
```

(_は工場出荷時の設定です)

項目	表示範囲	機能
SKIN DETAIL SWITCH	OFF ON	HDTV 映像出力の肌色部ディテール抑制の有効/無効を設定します。
CURSOR	OFF ON	肌色ディテールの効果対象とする彩度と色相情報を取得する位置カーソルの有効/無効を設定します。
POS H	1 960 1920	水平方向のカーソルポジションを設定します。
POS V	1 270 540	垂直方向のカーソルポジションを設定します。
SKIN GET	NO? EXECUTE CANCEL	カーソル位置から自動で彩度と色相情報を取得します。 NO? : 操作を取り消します。 EXECUTE : カーソル位置から自動で彩度と色相情報を取得します CANCEL : カーソル位置から取得した彩度と色相を破棄します
MEMORY SELECT	A B	肌色ディテールの設定値 (CRISP、PHASE、WIDTH、SATURATION) を保存するメモリを切り替えます。
MEM A CRISP	-63 0 63	メモリAの肌色領域のディテール成分から微少のノイズ成分を除きます。
MEM A PHASE	0 359	メモリAの肌色領域の色相をベクトル表示0 ~ 359 の範囲で変更します。

項目	表示範囲	機能
MEM A WIDTH	0 255	メモリAの肌色領域の幅を0 ~ 255 の範囲で広げます。
MEM A SATU	0 255	メモリAの肌色領域の彩度を0 ~ 255 の範囲で変更します。
MEM B CRISP	-63 0 63	メモリBの肌色領域のディテール成分から微少のノイズ成分を除きます。
MEM B PHASE	0 359	メモリBの肌色領域の色相をベクトル表示0 ~ 359 の範囲で変更します。
MEM B WIDTH	0 255	メモリBの肌色領域の幅を0 ~ 255 の範囲で広げます。
MEM B SATU	0 255	メモリBの肌色領域の彩度を0 ~ 255 の範囲で変更します。
ZEBRA SWITCH	OFF A B A+B	PM 出力のY 信号に肌色ディテール効果を付ける領域を視認できるよう、ゼブラを付けます。
EFFECT MEMORY	A B A+B	肌色ディテール効果をつけるメモリを切り替えます。

SD DETAIL

```

→** SD DETAIL **

DETAIL SWITCH          ON
V DETAIL              3
H DETAIL              5
CRISP                 0
PEAK1                 3.17M
PEAK2                 OFF
LEVEL DEPENDENT      5%
DARK DETAIL           1
    
```

(_は工場出荷時の設定です)

項目	表示範囲	機能
DETAIL SWITCH	ON OFF	SDTV 映像出力の輪郭の強調 (硬軟) 量の変更を有効/無効にします。
V DETAIL	0 3 63	垂直ディテール量を調整します
H DETAIL	0 5 63	水平ディテール量を調整します
CRISP	0 63	ディテール成分から除かれる微少ノイズ成分の最大振幅を設定します
PEAK 1	1.89M/2.18M/ 2.56M/3.17M/ 4.0M/5.28M/ 6.75M	2 つある輪郭補正帯域 (ブースト周波数あるいはピーク周波数) のうちの1 つを選択します。輪郭の太さを変更されます。

ROPメニュー設定項目 (つづき)

項目	表示範囲	機能
PEAK2	OFF/1.89M/ 2.18M/2.56M/ 3.17M/4.00M/ 5.28M/6.75M	2 つある輪郭補正帯域(ブースト周波数あるいはピーク周波数)のうちの1 つを選択します。輪郭の太さが変更されます。
LEVEL DEPENDENT	0 5 % 30 %	暗部のディテールを落とす機能です。レベルを調整します。
DARK DETAIL	0 1 5	

SYSTEM(1/2)

```

→** SYSTEM ( 1/2 ) **

RETURN1          HD SDI1
RETURN2          HD SDI2
RETURN3          HD SDI1
RETURN4          HD SDI2
RETURN·DELAY     NORMAL
DOWN CONVERT MODE SC
UP CONVERT MODE  SC
HD COLOR BAR     ARIB
PATHO            OFF
SDI3-4 OUT       PM
    
```

(__は工場出荷時の設定です)

項目	表示範囲	機能
RETURN1	HD SDI1 HD SDI2 SD SDI1 SD SDI2 VBS	リターン信号1の入力割付を設定します。*1
RETURN2	HD SDI1 HD SDI2 SD SDI1 SD SDI2 VBS	リターン信号2の入力割付を設定します。*1
RETURN3	HD SDI1 HD SDI2 SD SDI1 SD SDI2 VBS	リターン信号3の入力割付を設定します。*1
RETURN4	HD SDI1 HD SDI2 SD SDI1 SD SDI2 VBS	リターン信号4の入力割付を設定します。*1
RETURN·DELAY	NORMAL SHORT	RET 表示映像を1F 遅れ(NORMAL)とするか最短遅延(SHORT)とするかを選択します。
DOWN CONVERT MODE	SC SQ LB	SD SDI、VBS から出力される映像のダウンコンバート方式を選択します。
UP CONVERT MODE	SC SQ LB	SD SDIおよびVBSリターン映像に適用される映像のアップコンバート方式を選択します。入力する信号形式を選択してください。

項目	表示範囲	機能
HD COLOR BAR	FULL BARS-1 ARIB BARS-2 BARS-3 BARS-4 BARS-5 BARS-6	ROP の操作パネルで「BAR」を選択したときにHD/SD SDI OUTコネクタとVBSコネクタから出力されるカラーバー信号を選択します。VBS やSDフォーマットで出力するときは、HDフォーマットのカラーバーをDOWNCONVERT MODEで指定したモードで出力します。 FULL: 75 %フルフィールドカラーバー BARS-1: SMPTE規格を基準にしたカラーバー ARIB: ARIBマルチフォーマットカラーバー BARS-2: EIAJ規格を基準にしたカラーバー BARS-3: スプリットフィールドカラーバー BARS-4: 75 %フルフィールドカラーバーをアスペクト比4 : 3の領域に配置したカラーバー(領域の外は、40 %のグレイを表示します) BARS-5: SMPTE 規格を基準にしたカラーバーをアスペクト比4 : 3の領域に配置したカラーバー(領域の外は、40 %のグレイを表示します) BARS-6: EIAJ 規格を基準にしたカラーバーをアスペクト比4 : 3の領域に配置したカラーバー(領域の外は、40 %のグレイを表示します)
PATHO	OFF ON	パソロジカル信号のON/OFFを選択します。
SDI3-4 OUT	NORMAL PM	CCUのHD/SD SDI出力の3、4番目の端子に出力される信号を選択します。

*1 HCU200の[OPERATION]-[SETTING1]-[SDI RETURN1]/[SDI RETURN2]の設定によって、表示範囲として選択できる項目が異なります。HCU200の[SDI RETURN1]の[HD]/[SD]が、本機の[HD SDI1]、[SD SDI1]と連動しています。HCU200の[SDI RETURN2]の[HD]/[SD]が、本機の[HD SDI2]、[SD SDI2]と連動しています。たとえば、HCU200の[SDI RETURN1]で[HD]が設定されている場合は、本機では[HD SDI1]が選択できますが、[SD SDI1]は選択できません。

SYSTEM (2/2)

```

→** SYSTEM ( 2/2 ) **

HD H PHASE                0
SD H PHASE                0
SD-HD V                   0H

MIC1          GAIN      AMP
MIC2          6 0dB    0dB
               6 0dB    0dB
    
```

(_は工場出荷時の設定です)

項目	表示範囲	機能
HD H PHASE	-1099 0 1099(59.94Hz) -1319 0 1319(50Hz)	ゲンロックリファレンス位相に対するHD SDI映像の水平位相を調整します。
SD H PHASE	-857 0 857(59.94Hz) -863 0 863(50Hz)	SDの水平同期位相を調整します。
SD-HD V	OH ADVANCE OH_SD_DLAY	SDTVの出力に対してHDTV出力の垂直位相を設定します。 OH: 垂直位相を同位相に設定します。 ADVANCE: フィールド周波数が59.94 Hzの場合は、90H位相を進めます。フィールド周波数が50 Hzの場合は、75H位相を進めます。 OH_SD_DLAY: SDTV信号を遅延させてHDTV信号と同位相に設定されます。 ・フィールド周波数が50 Hzの場合は、この項目の設定を[OH]、または[ADVANCE]に設定していると、DOWNCONVERT MODEでレターボックスが選択されている場合のみ、SDフォーマットの映像が1フレーム+75ライン遅延します。 同期位相の関係は、AK-HCU200の取扱説明書操作設定編を参照してください。 ADVANCE: 59.94Hz→90H 50Hz→75H
MIC1 GAIN	20dB 40dB 60dB	MIC1 のゲインを粗調整します。

項目	表示範囲	機能
MIC1 AMP	-20dB 0 20dB	MIC1 のゲインを微調整します。 (1dB刻み)
MIC2 GAIN	20dB 40dB 60dB	MIC2 のゲイン粗調整します。
MIC2 AMP	-20dB 0 20dB	MIC2 のゲインを微調整します。 (1dB刻み)

FUNCTION

```

→** FUNCTION **

ALC LEVEL                50
ALC SPEED                15
ALC WINDOW               1
ALC PEAK                 60
ALC RANGE                NORMAL

ASU SETUP                OUT FULL
ASU REF FILE             FACTORY
ASU MASTER PED SET      2.0%
ASU FILTER               REF

TALLY GUARD              OFF
    
```

(_は工場出荷時の設定です)

項目	表示範囲	機能
ALC LEVEL	0 50 100	レンズアイリスのオートアイリスレベルを調整します。
ALC SPEED	1 15 25	オートアイリスのフィードバック速度を設定します。 数値が大きくなるとフィードバック速度が速くなります。
ALC WINDOW	1 4	オートアイリスの映像検知領域窓を設定します。
ALC PEAK	0 60 100	オートアイリスの映像検知の平均値、ピーク値の割合を設定します。
ALC RANGE	NORMAL 3/4 2/4 1/4	オートアイリス時、アイリスレバー<IRIS (↑ ↓)>でアイリスレベルを補正するときの補正幅を設定します。
ASU SETUP	OUT FULL OUT EASY	オートセットアップモード設定を選択します。
ASU REF FILE	FACTORY USER1 USER2 USER3	オートセットアップを起動したときに参照するファイルを選択します。
ASU MASTER PED SET	0.0% 2.0% 7.5%	オートセットアップを起動したときにマスターペダスタルを取束させる位置を設定します。

項目	表示範囲	機能
ASU FILTER	REF CURRENT	オートセットアップ起動時のNDフィルターの動作を設定します。 REF : リファレンスファイルに設定してあるフィルターで起動します CURRENT : 起動前のフィルター位置でオートセットアップが起動します
TALLY GUARD	OFF ON	ON設定ではASU、AWB、ABBの自動系動作が、タリーON中にはガードされ無効になります。

LENS FILE/EDIT (1/2)

```

->** LENS FILE/EDIT(1/2) **

MODE                               LOAD
FILE NO                             OFF

FILE NAME

EXECUTE                             NO?
    
```

(__は工場出荷時の設定です)

項目	表示範囲	機能
MODE	LOAD STORE	現時点のレンズファイルをカメラ内に保存(STORE)、またはカメラ内に保存されているレンズファイルを読み出し(LOAD)します。
FILE NO.	●[MODE]で [LOAD]選択時 OFF 1 32 ●[MODE]で [STORE]選択時 1 32	レンズファイルの番号を選択します。
FILE NAME	最大8文字	ファイル名を入力します。 ・[MODE]で[LOAD]選択時は無効です。 入力可能文字 0~9、A~Z、a~z、 _(アンダーバー)、(スペース)
EXECUTE	YES? NO?	MODEで選択された処理を実行します。

LENS FILE/EDIT (2/2)

```

->** LENS FILE/EDIT(2/2) **

EXTENDER                               X1.0
FILE

FLARE          R      G      B
GAIN          ----  ----  ----

R  HSAW  HPARA  VSAW  VPARA
R  ----  ----  ----  ----
G  ----  ----  ----  ----
B  ----  ----  ----  ----

STORE?          ----
CANCEL?         ----
    
```

(__は工場出荷時の設定です)

項目	表示範囲	機能
EXTENDER	x 1.0 x 2.0	レンズエクステンダーの現在の倍率を設定します。
FILE		現在LOAD中のレンズファイルの番号と名称を表示します。
FLARE R	-100 0 100	レンズのRフレアを設定します。
FLARE G	-100 0 100	レンズのGフレアを設定します。
FLARE B	-100 0 100	レンズのBフレアを設定します。
GAIN R	-100 0 100	レンズのRゲインを設定します。
GAIN B	-100 0 100	レンズのBゲインを設定します。
R HSAW	-100 0 100	レンズのWhite Shadingを設定します。
R HPARA		
R VSAW		
R VPARA		
G HSAW		
G HPARA		
G VSAW		
G VPARA		
B HSAW		
B HPARA		
B VSAW		
B VPARA		
STORE?	FILE No. #1 #32 (初期値 : LOAD 時のFILE No.) YES? NO?	Gain R/G/B、Flare R/G/B、White Shadingの設定をFILE No.で指定したレンズファイルに保存します。

ROPメニュー設定項目 (つづき)

項目	表示範囲	機能
CANCEL?	YES? NO?	Gain R/G/B、Flare R/G/B、White Shadingの設定を破棄し、元のレンズファイルを読み込みます。

ROP SD CARD

シーンファイル、ユーザーファイル、レンズファイルをROPのメモリーカードに保存、読み出します。

シーン/ユーザー選択ボタンで保存したいシーンファイル、ユーザーファイル呼び出してください。(シーンファイル/ユーザーファイルの呼び出しについては取扱説明書<基本編>を参照してください)

保存したいレンズファイルを呼び出してください。(LENS FILE/EDIT →31ページ)

```

→** ROP SD CARD **

SCENE FILE          #1
SAVE                NO?
LOAD                NO?

USER FILE           #1
SAVE                NO?
LOAD                NO?

LENS FILE           #1
SAVE                NO?
LOAD                NO?
    
```

(_は工場出荷時の設定です)

項目	表示範囲	機能
SCENE FILE	#1 #4	保存する番号もしくは、読み出す番号を選択します。
SAVE	NO? YES?	シーンファイルがROPのメモリーカードに保存されます。
LOAD	NO? YES?	ROPのメモリーカードに保存されたシーンファイルを読み出します。
USER FILE	#1 #3	保存する番号もしくは、読み出す番号を選択します。
SAVE	NO? YES?	ユーザーファイルがROPのメモリーカードに保存されます。
LOAD	NO? YES?	ROPのメモリーカードに保存されたユーザーファイルを読み出します。
LENS FILE	#1 #32	保存する番号もしくは、読み出す番号を選択します。
SAVE	NO? YES?	レンズファイルがROPのメモリーカードに保存されます。
LOAD	NO? YES?	ROPのメモリーカードに保存されたレンズファイルを読み出します。

IP接続

IP設定の手順について

本機とCCUおよびリモートカメラ、カメラレコーダーをIP接続するときの設定手順を説明します。
IP接続時のシステム構成は、取扱説明書<基本編>を参照してください。
シリアル接続のみ(シリアル接続モード)で運用する場合は、以下のIP設定は不要です。

ソフトウェアのインストール

パーソナルコンピュータに、「IP簡単設定ソフトウェア」と「ROPセットアップソフトウェア」をインストールする(→34ページ)



機器の接続

本機とCCUおよびリモートカメラ、カメラレコーダーをスイッチングハブ(100base-TX)経由で、LANケーブルで接続する



パーソナルコンピュータの接続、設定

スイッチングハブ(100base-TX)にLANケーブルでパーソナルコンピュータを接続する
パーソナルコンピュータのネットワーク設定を行う



機器のIPアドレスを設定

接続する機器のIPアドレスを次のいずれかの方法で設定する。^{*1}

- メニューによる設定
各機器のメニュー操作で設定
- パーソナルコンピュータによる設定
IP簡単設定ソフトウェアを使って設定



ROPの各種設定

ROPセットアップソフトウェアを使って各種設定を行う

- 同一システム内のROPのリスト作成
- ROPのシステム設定
- 接続認証の設定
- カメラ番号の設定



運用を開始する

「IP簡単設定ソフトウェア」は、ROPやリモートカメラ、CCUのIPアドレスを設定するツールです。「ROPセットアップソフトウェア」は、ROPの各種設定(カメラ番号やシステム設定)を設定するツールです。

<NOTE>

ただし、「IP簡単設定ソフトウェア」は、カメラレコーダーには使用することが出来ません。接続するカメラレコーダー本体側でIPアドレスを設定してください。詳しくは、カメラレコーダー本体の取扱説明書を参照してください。

IP設定用のパーソナルコンピュータを接続する必要があるため、必ずスイッチングハブ経由で接続してください。

パーソナルコンピュータのネットワーク設定は、本機、CCUおよびリモートカメラ、カメラレコーダーと同セグメントにしてください。

各機器のメニュー操作のしかたは、それぞれの機器の取扱説明書を参照ください。

^{*1} カメラレコーダーのIPアドレスの設定は、カメラレコーダー本体側のメニューによる設定のみとなります。

IP接続されているROPの各種設定が可能です。

<NOTE>

●IP接続モードの設定について

運用中にIP簡単設定ソフトウェア、ROPセットアップソフトウェアを起動させないでください。
ROPの接続が切れ、運用に支障をきたすおそれがあります。

●ROPセットアップソフトウェアのバージョンについて

カメラレコーダーをシリアル接続する場合は、「5.0.0.1」以上のバージョンのセットアップソフトウェアを使用してください。

ソフトウェアの起動方法

ソフトウェアについては、下記Webサイトのサポートデスクから入手することができます。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

■ IP簡単設定ソフトウェアをインストールする

<NOTE>

「IP簡単設定ソフトウェア」は、カメラレコーダーには使用することが出来ません。

1. Webサイトのサポートデスクから、IP簡単設定ソフトウェア (EasyIPSetup.exe) のzipファイルをダウンロードする

2. ダウンロードしたzipファイルをダブルクリックして解凍する
「Readme.txt」を必ずお読みのうえ、ソフトウェアをインストールしてください。

3. [EasyIPSetup] フォルダー内の [EasyIPSetup.exe] をダブルクリックする
IP簡単設定ソフトウェアが起動します。

■ ROPセットアップソフトウェアをインストールする

1. Webサイトのサポートデスクから、ROPセットアップソフトウェア (ROPSetup.exe) のzipファイルをダウンロードする

2. ダウンロードしたzipファイルをダブルクリックして解凍する
「Readme.txt」を必ずお読みのうえ、ソフトウェアをインストールしてください。

3. [ROPSetup] フォルダー内の [ROPSetup.exe] をダブルクリックする
ROPセットアップソフトウェアが起動します。

機器の接続

ROP、CCU、リモートカメラ、カメラレコーダーをIP接続します。必ずスイッチングハブなどを使用してストレートのLANケーブルで接続してください。

各機器の電源をONにします。

パーソナルコンピューターの接続、設定

「IP簡単設定ソフトウェア」と「ROPセットアップソフトウェア」をインストールしたパーソナルコンピューターをIP接続します。パーソナルコンピューターのネットワーク設定を行います。パーソナルコンピューターのネットワーク設定は、接続する機器と同一セグメントに設定してください。

推奨設定は以下のとおりです。

IPアドレス:	192.168.0.200 ・他の機器と重複している場合は変更してください。
サブネットマスク:	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ:	192.168.0.1

機器のIPアドレスの設定

■ メニュー操作による設定

本機 (ROP) のIPアドレスは、セットアップモードで設定します。

番号	項目	参照ページ
10	IPアドレス	15ページ
11	サブネットマスク	15ページ
12	デフォルトゲートウェイ	16ページ

CCUおよびリモートカメラ、カメラレコーダーのIPアドレスは、それぞれの機器の取扱説明書を参照ください。

■ IP簡単設定ソフトウェアによる設定

IP簡単設定ソフトウェアを使用して各機器のIPアドレスを設定します。(→35ページ)

ROPの各種設定

ROPセットアップソフトウェアを使用して、各種設定を行います。(→36ページ)

IP簡単設定ソフトウェア

機器のIPアドレスを設定する

IP簡単設定ソフトウェアを使用して各機器のIPアドレスを設定します。

<NOTE>

本ソフトウェアでは、ROPおよびCCUもカメラとして表示されます。

1. IP簡単設定ソフトウェアを起動する

IP接続されている機器の一覧が表示されます。

2. 設定するリモートカメラ、ROP、CCUのMACアドレスをクリックし、[ネットワーク設定] ボタンをクリックする



<NOTE>

IPアドレスが競合している場合、該当するカメラのMACアドレスが影付きで表示されます。

3. ネットワークの各項目を入力し、[保存] ボタンをクリックする



[接続モード]を[固定IP]に設定します。

[IPv4アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]を入力します。

その他の設定項目については変更しないでください。

<NOTE>

- ファイアウォールが有効に設定されている場合、ファイアウォールによるプログラムの許可を設定してください。
 - コントロールパネルを起動し[システムとセキュリティ]をクリックします。
 - [Windows ファイアウォール]の[Windows ファイアウォールによるプログラムの許可]をクリックします。
 - [Internet Explorer]または[EasylpSetup]の行を選択してから[設定の変更(N)]をクリックのうえ、[Internet Explorer]または[EasylpSetup]にチェックを入れます。
 - [OK]をクリックします。

- [保存]ボタンをクリック後、CCU、リモートカメラ、ROPへの設定が完了するまで約2分かかります。設定が完了する前にACアダプターやLANケーブルを抜くと、設定内容が無効になります。再度、設定をやり直してください。

- CCUのネットワーク設定は、CCUのメニューより設定してください。詳細はCCUの取扱説明書をご参照ください。

- CCUは設定変更が完了してから再起動してください。

- ファイアウォール(ソフトウェア含む)を導入している場合、全ポートに対してUDPのアクセスを許可してください。

- ネットワークの設定後、同じネットワーク内に存在する他の機器とIPアドレスが重複すると、正しく動作しません。IPアドレスが重複しないように設定してください。

- 複数のIP簡単設定ソフトウェアから同時にネットワークの設定を行わないでください。

- また、リモートカメラコントローラーAW-RP50、AW-RP120の「自動IP設定」の操作を同時に行わないでください。

- IPアドレスの設定がわからなくなる原因になります。

- Microsoft® Windows® XP Home Edition SP3日本語版をご使用の場合、IP簡単設定ソフトウェアを起動すると、セキュリティの重要な警告画面が表示されることがあります。

- この場合は、[ブロックを解除する]ボタンをクリックしてください。

- Microsoft® Windows® Vistaをご使用の場合、IP簡単設定ソフトウェアを起動すると、管理者アカウントのパスワードを要求されることがあります。

- この場合は、コントロールパネルから「ユーザーアカウント制御」を無効にしてください。

- IP簡単設定ソフトウェアは、セキュリティ強化のため、電源投入後、約20分以上経過すると対象リモートカメラのMACアドレス、IPアドレスが表示されなくなります。

- 表示時間の設定については、リモートカメラの取扱説明書を参照ください。

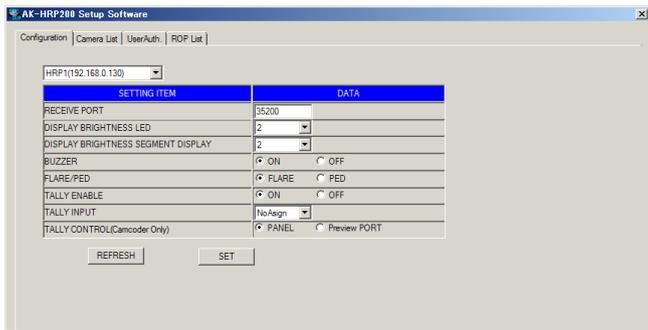
- IP簡単設定ソフトウェアは、ルーターを経由した異なるサブネットからは使用できません。

- IPv6には対応していません。

ROPセットアップソフトウェア

はじめに、[ROP List]タブの画面でROPセットアップソフトウェアへ本機の登録を行います。

登録が完了すると、[Configuration]タブ、[Camera List]タブ、[UserAuth.]タブの画面で各種設定ができます。



ROPセットアップソフトウェアを起動したときは、[Configuration]タブが最初に表示されます。必要なタブをクリックして切り替え、登録や設定を行ってください。

<NOTE>

ROPセットアップソフトウェアを使ってパーソナルコンピュータで設定を行っているときは、下記内容に注意してください。

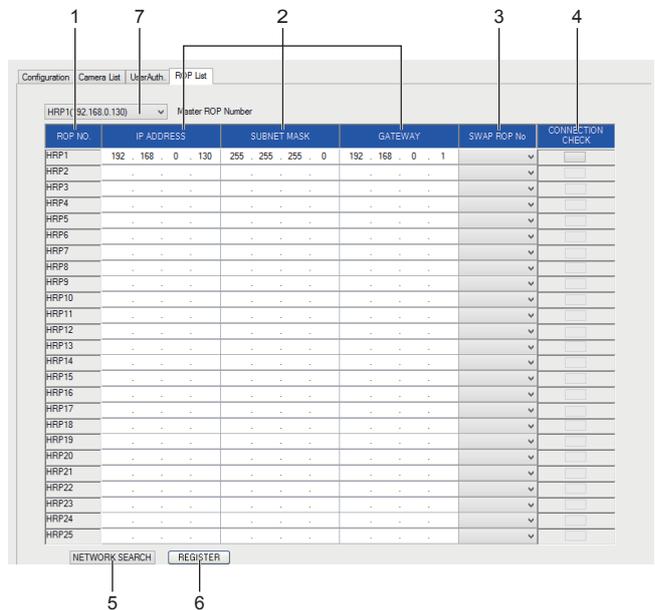
- 本機がセットアップモード中はROPセットアップソフトウェアは起動できません。
- 同一ネットワーク上の他のコンピュータで、ROPセットアップソフトウェアを起動させないでください。
- セットアップソフトウェアで接続設定を行った場合、設定データをバックアップすることをお勧めします。本機のセットアップモードでメモリーカードに保存してください。

番号	項目	参照ページ
5	ROP設定ファイルメモリーカード保存	13ページ

ROPセットアップソフトウェアへ本機を登録する [ROP List]

[ROP List]タブで、ROPセットアップソフトウェアから設定を行う本機のIPアドレスを、[HRP1]に登録します。

本機をネットワークに複数台接続する場合は、1台を[HRP1]に登録後、ネットワークに接続されている他のROP(AK-HRP200)を登録します。ここで登録したROPは、[Camera List]タブのリストボックスから選択することができます。最大25台まで登録することができます。



1. [HRP1]のIPアドレスを設定する。

- 1) ROP NO.欄 (1) [HRP1]の行に、登録する本機のIPアドレスを入力します。
- 2) [REGISTER]ボタン(6)をクリックして、[HRP1]の設定を確認します。

2. 複数台の接続を設定する。

次の2通りの設定方法があります。

- [HRP1]の設定と同じ手順で、設定されているIPアドレスをIPアドレス欄(2)に入力する。
- [NETWORK SEARCH]ボタン(5)をクリックして同一セグメント上にあるROPの情報取得する。
 - [HRP2]～[HRP25]に一覧が表示されます。

それぞれ、接続の情報が正しければ、[REGISTER]ボタン(6)をクリックして、情報を確認します。Master ROP Number (7)のリストボックスに、設定されたROPが表示されます。

一覧のROP NOを変更したい場合

2つのROP NO.の間で、接続先として設定されているROPを入れ替えます。

- 1) SWAP ROP No.欄(3)の▼をクリックする。
 - ROP NO. [HRP2]～[HRP25]が表示されます。
- 2) 入れ替えを行いたいROP NO.を選択する。
- 3) [REGISTER]ボタン(6)をクリックして変更を確認する。

<NOTE>

[REGISTER]ボタン(6)を押した後の設定に必要な時間は、接続しているROPの台数によって増加します。25台接続時は、最大10分かかります。

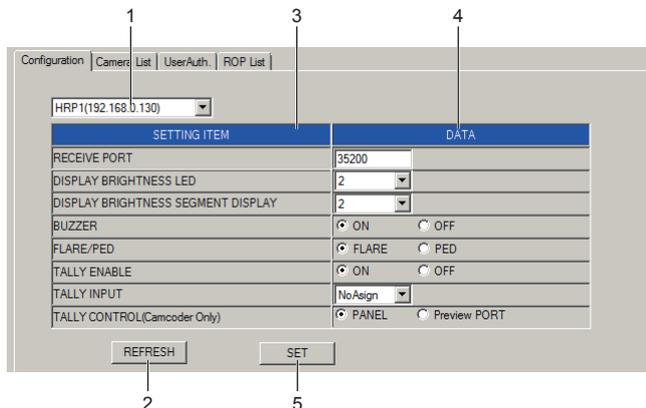
3. ネットワークでROPの接続確認をする。

確認するROP NO.の行にある [CONNECTION CHECK]ボタン(4)をクリックする。

正常に通信ができているときは、該当するROPのグリーンタリー表示部<TALLY/CALL>が、約3秒間点滅します。点滅しない場合は、設定や接続を確認してください。

本機の機器設定を行う [Configuration]

[Configuration]タブで本機の機器設定を行います。
本機にパーソナルコンピューターを初めて接続したときは、まず [REFRESH] ボタン(2)をクリックし、本機に設定されている値を取得してください。



1. 設定する本機 (ROP) を選択する。

設定対象選択リストボックス(1)の▼をクリックすると、設定を行うことができるROPのIPアドレスのリストが表示されます。この中から、設定を行いたいROPのIPアドレスを選択します。リストは、[ROP List]タブで登録したROPが選択対象となります。

2. [Configuration] タブの表示を更新する。

[REFRESH] ボタン(2)をクリックし、本機に設定されている接続情報をパーソナルコンピューターに取り込み、[Configuration]タブの表示を更新します。

3. 機器設定を行う。

手順1で選択したROPの設定項目[SETTING ITEM](3)が表示されます。
[DATA]欄(4)で必要な項目の設定を行ってください。

RECEIVE PORT

本機が、リモートカメラからリモートカメラ設定ファイルの更新通知を受信するためのポート番号を設定します。

設定可能な範囲： 35200～35599

DISPLAY BRIGHTNESS LED

パネル面のLEDの輝度を設定します。

DISPLAY BRIGHTNESS SEGMENT DISPLAY

パネル面7セグ表示器の輝度を設定します。

BUZZER

ブザー音(操作音/コール音)の有効、無効を設定します。

FLARE/PED

フレア/ペダスタルボリュームの機能を選択します。

TALLY ENABLE

タリー出力の有効/無効を設定します。

TALLY INPUT

タリー入力に入力されるタリー情報がどのカメラかを設定します。

設定可能な範囲： Cam1～Cam19

TALLY CONTROL(Camcorder Only)

タリーの制御を、パネルからの操作か、プレビュー端子からの入力かを設定します。

<NOTE>

上記項目は、本体のセットアップモードでも設定可能です。

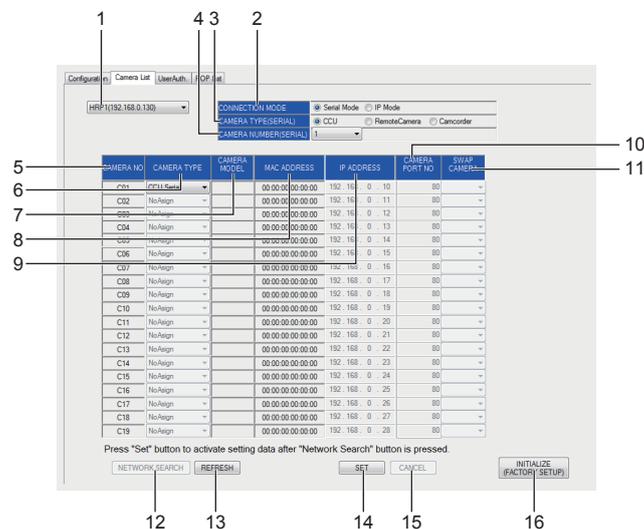
4. 設定した内容を確定する。

設定が終了したら[SET]ボタン(5)を押して内容を確定してください。[Do you agree to rebooting after data transfer?]のメッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックしてください。[CANCEL]ボタンをクリックすると設定内容は本機に反映されません。

カメラとの接続設定をする [Camera List]

[Camera List]タブで、ネットワークに接続されているROPとカメラとの接続設定を行います。本機にパーソナルコンピューターを初めて接続したときは、まずROPリストボックス(1)で設定するROPを選択し、[REFRESH] ボタンをクリックしてください。リストボックス(1)で選択したROPに設定されている値を取得します。

[C01]～[C19]の各行に、各カメラ番号の接続設定情報が一覧で表示されます。



1. 接続設定を行うROPを選択する。

選択リストボックス(1)の▼をクリックすると、設定可能なROPのIPアドレスリストが表示されます。この中から、設定を行うIPアドレスのROPを選択します。
[ROP List]タブで登録したROPが選択対象となります。

2. [Camera List] タブの表示を更新する。

[REFRESH] ボタン(13)をクリックし、選択リストボックス(1)で設定されているROPの接続情報をパーソナルコンピューターに取り込み、[Camera List]タブの表示を更新します。

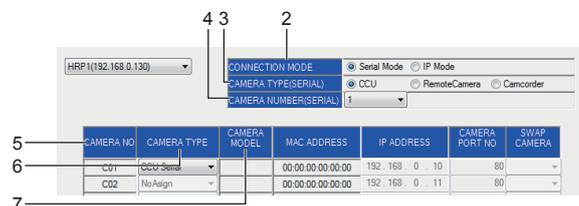
3. 接続設定を行う。

手順1で選択したROPの接続設定情報が表示されます。必要な項目の設定を行ってください。

<NOTE>

CONNECTION MODE(2)の設定により設定できる項目や、ボタンの有効/無効が異なります。

● シリアル接続モード時



CONNECTION MODE (2)

選択されたROPの接続モードを設定します。
シリアル接続モード時は、[Serial Mode] のボタン◎を選択します。

Serial Mode: シリアル接続モードの設定を行います。
IP Mode: IP接続モードの設定を行います。

CAMERA TYPE(SERIAL) (3)

シリアル接続時の接続機器を設定します。接続機器を選択します。

CCU: CCUとシリアル接続します。
RemoteCamera: リモートカメラとシリアル接続します。
Camcorder: カメラレコーダーとシリアル接続します。

CAMERA NUMBER(SERIAL) (4)

シリアル接続時に接続している機器のカメラ番号を設定します。

<NOTE>

IP接続モードでは、設定することはできません。

CAMERA NO (5)

カメラ番号が表示されます。

<NOTE>

シリアル接続モード時には、[CAMERA NUMBER(SERIAL)] (4)で設定したカメラ番号のみの接続となります。

CAMERA TYPE (6)

接続種別が表示されます。

<NOTE>

シリアル接続モード時は、CAMERA TYPE (Serial) (3)で、選択した機器が表示されます。

CAMERA MODEL (7)

[REFRESH] ボタン (13) をクリックすると接続されている機器を表示します。

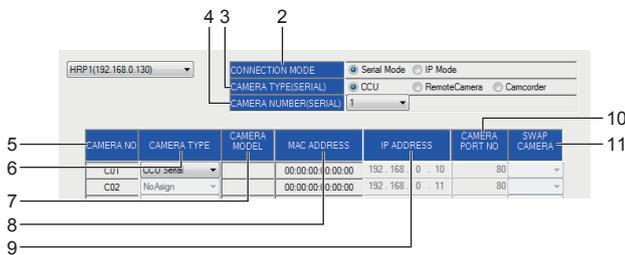
<NOTE>

シリアル接続モード時は、リモートカメラを選択しているときのみ表示されます。

REFRESH ボタン (13)

本機に設定されている接続情報をパーソナルコンピュータに取り込み、[Camera List] タブの表示を更新します。

● IP 接続モード時



CONNECTION MODE (2)

選択されたROPの接続モードを設定します。

IP 接続モード時は、[IP Mode] のボタン を選択します。

Serial Mode:	シリアル接続モードの設定を行います。
IP Mode:	IP 接続モードの設定を行います。

CAMERA TYPE(SERIAL) (3)

シリアル接続時の接続機器を設定します。接続機器を選択します。

CCU:	CCUとシリアル接続します。
RemoteCamera:	リモートカメラとシリアル接続します。
Camcorder:	カメラレコーダーとシリアル接続します。

<NOTE>

IP 接続モード時は、CAMERA TYPE(SERIAL)(3)で選択した機器とのみシリアル接続が可能です。

CAMERA NUMBER(SERIAL) (4)

IP 接続モードでは、設定することはできません。

CAMERA NO (5)

カメラ番号が表示されます。

[C01] ~ [C19] の設定ができます。

CAMERA TYPE (6)

をクリックして、[CCU Serial]、[CCU IP]、[Remote Serial]、[Remote IP]、[Camcorder IP]、[Camcorder Serial]、[NoAssign] から、接続種別を選択します。

CCU Serial:	CCUのシリアル接続
CCU IP:	CCUのIP接続
Remote Serial:	リモートカメラのシリアル接続
Remote IP:	リモートカメラのIP接続
Camcorder IP:	カメラレコーダーのIP接続
Camcorder Serial:	カメラレコーダーのシリアル接続
NoAssign:	設定なし(初期設定)

CAMERA MODEL (7)

NETWORK SEARCH ボタン (12) で取得された接続機器を表示します。

<NOTE>

シリアル接続しているリモートカメラは表示されますが、シリアル接続しているCCUは表示されません。

MAC ADDRESS (8)

本機のカメラ番号 [CAMERA NO](5) とリンク設定されているカメラのMACアドレスを表示します。

NETWORK SEARCH ボタン (12) で取得されたカメラ番号の機器のMACアドレスが表示対象になります。

IP ADDRESS (9)

接続先とするカメラのIPアドレスを指定します。

入力した後、[SET] ボタン (14) をクリックして、変更内容を反映させてください。

CAMERA PORT NO (10)

接続先とするカメラのポート番号を設定します。

入力した後、[SET] ボタン (14) をクリックして、変更内容を反映させてください。

設定可能な範囲: 1 ~ 65535 *1

*1 ただし、この範囲の値であっても以下の値を設定することはできません。

- 20, 21, 23, 25, 42, 53, 67, 68, 69, 110, 123, 161, 162, 995, 10669, 10670

<NOTE>

通常は以下のとおり設定します。ただしカメラ側で変更されている場合には、その設定にあわせる必要があります。

CCU IP:	80
Remote IP:	80
Camcorder IP:	49152

SWAP CAMERA (11)

2つのカメラ番号間で、接続先として設定されているカメラを入れ替えます。 をクリックすると、カメラ番号 [C01] ~ [C19] が表示されます。

この中から、入れ替えを行いたいカメラ番号を選択します。変更後は、[SET] ボタン (14) をクリックして、変更内容を反映させてください。

NETWORK SEARCH ボタン (12)

[NETWORK SEARCH] ボタンをクリックすると、新たに検出したリンク設定の対象のカメラ (CAMERA NO) が黄色で表示されます。

[SET] ボタン (14) をクリックすると設定が確定し、本機の接続先IPアドレスが更新されます。

[CANCEL] (16) ボタンをクリックすると、設定は反映されません。

<NOTE>

- カメラレコーダーは検出できません。[NETWORK SEARCH] を実行しても検出されなかった場合は、一度 [SET] ボタンを押してから、手動設定をしてください。その後、再度 [SET] ボタンを押して、設定を確定してください。
- NETWORK SEARCH中にDuplicationエラーが発生した場合は、画面上のIPアドレスを変更してください。画面上に表示されている2台以上のカメラのIPが重複している場合や、画面上に表示されているカメラと、新たにネットワーク上に追加しようとしているカメラのIPが重複している場合、Duplicationエラーが表示されます。エラーが出ているIPアドレスを変更して本機に登録後、NETWORK SEARCHを実施してください。

REFRESH ボタン (13)

本機に設定されている接続情報をパーソナルコンピュータに取り込み、[Camera List] タブの表示を更新します。

SET ボタン (14)

[Camera List] タブで行った変更内容を確定し、本機の設定値を更新します。

[Do you agree to rebooting after data transfer?] のメッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてください。[CANCEL] ボタンをクリックすると設定内容は本機に反映されません。

CANCEL ボタン (15)

NETWORK SEARCH ボタン (12) 実施後の変更内容をキャンセルします。

INITIALIZE (FACTORY SETUP) ボタン (16)

[INITIALIZE] ボタンをクリックすると、本機の設定が初期化されます。(本機セットアップメニュー番号16の「設定初期化」と同等です)

IPアドレスも初期化(工場出荷値: 192.168.0.130)されます。工場出荷値(192.168.0.130)以外の本機を選択中の場合は、IP簡単設定ソフトウェアでIP設定の変更を行ってください。(→35ページ)

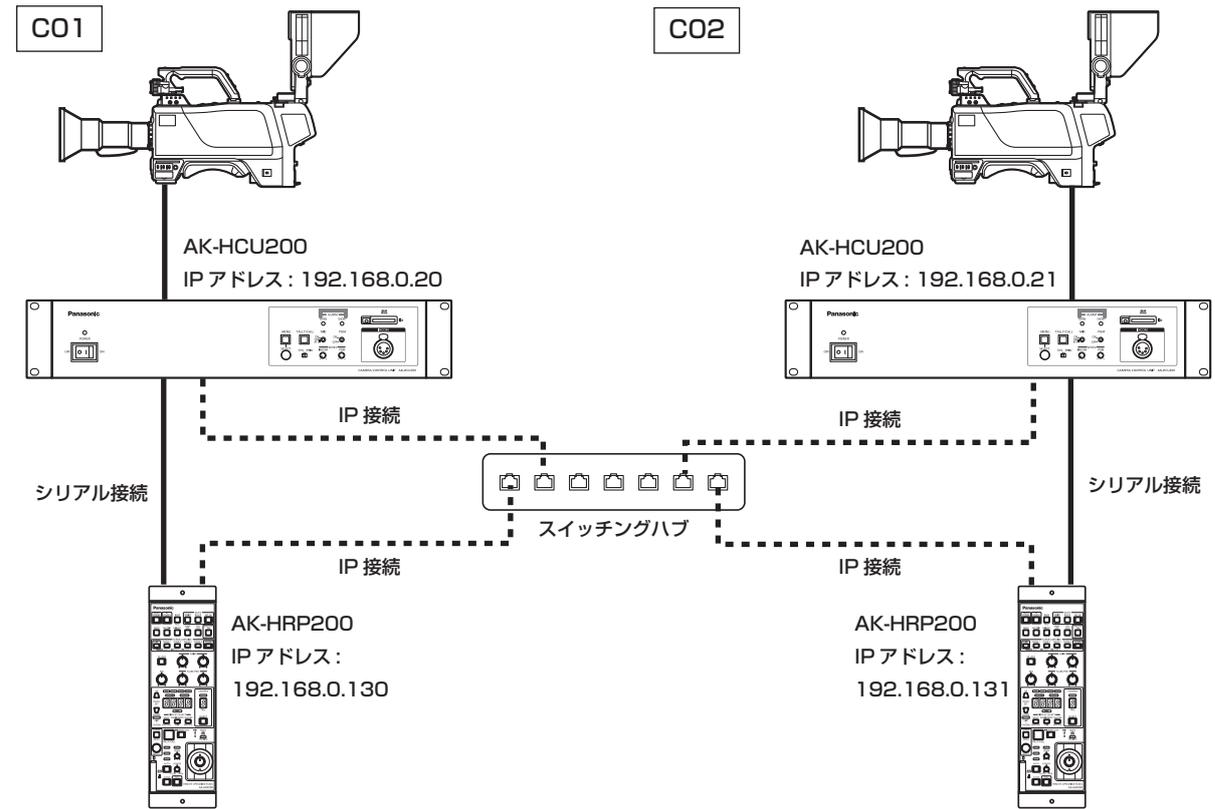
[Do you agree to rebooting after data transfer?] のメッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてください。本機が再起動し、設定した内容が反映されます。[CANCEL] ボタンをクリックすると設定内容は本機に反映されません。

<NOTE>

●カメラ番号設定時のご注意

各HRP200ごとの[Camera List]の設定において、以下の点に注意してください。

- 各カメラの番号を先に決定し、[Camera List]はそれぞれのカメラ番号がすべてのROP設定で同一となるように設定してください。



CAMERA NO	CAMERA TYPE	IP ADDRESS
C01	CCU Serial	
C02	CCU IP	192.168.0.21

CAMERA NO	CAMERA TYPE	IP ADDRESS
C01	CCU IP	192.168.0.20
C02	CCU Serial	

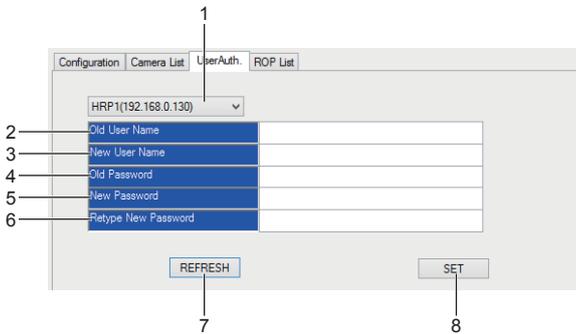
例えば、上図のようにCCU、ROPそれぞれ2台をシリアル接続、IP接続を行う場合、HRP1の[Camera List]は、[C01]がシリアル接続、[C02]はIP接続と設定してください。

HRP2の[Camera List]は、[SWAP CAMERA]を用いて[C01]をIP接続、[C02]をシリアル接続に設定してください。

- [NETWORK SEARCH]で検索を行うと、同一セグメント上のカメラ、CCUがすべて (C01、C02) 検出されますが、シリアル接続で設定済みのカメラは[NoAssign]に変更してください。

ユーザー認証の設定を行う [UserAuth.]

ユーザー認証機能が有効になっているCCU、リモートカメラ、カメラレコーダーを制御するためには、ユーザー名とパスワードを本機に設定する必要があります。この設定は、本ソフトウェアの[User Auth.]タブで行います。ユーザー認証機能は、IP接続したCCU、リモートカメラ、カメラレコーダーを制御するときのみ有効です。それぞれ本体の取扱説明書もあわせて参照してください。



1. 選択リストボックス(1)で、接続設定を行うROPを選択する。

- ▼ をクリックすると、設定可能なROPのIPアドレスリストが表示されます。この中から設定をするIPアドレスのROPを選択します。[ROP List]タブで登録したROPが選択対象となります。

2. [REFRESH] ボタン(7)をクリックする

- 選択リストボックス(1)で選択したROPに設定されているユーザー名が[Old User Name]ボックス(2)に表示されます。
- 工場出荷時のROPは、[admin]が設定されています。

3. [New User Name] ボックス(3)に、新たに設定するユーザー名を入力する。

4. [Old Password] ボックス(4)に、選択されたROPに設定されているパスワードを入力する

- 入力された文字は「*」で表示されます。
- 工場出荷時のROPは、[12345]が設定されています。

5. [New Password] ボックス(5)に、新たに設定するパスワードを入力する

- 入力された文字は「*」で表示されます。

6. [Retype New Password] ボックス(6)に、手順5で入力したパスワードと同じパスワードを入力する

- 入力された文字は「*」で表示されます。

7. [SET] ボタン(8)をクリックする

- リストボックス(1)で選択されたROPに、ユーザー名とパスワードが設定されます。
- ユーザー認証機能が有効になっているカメラを制御するときは、ここで設定したユーザー名とパスワードが用いられます。

<NOTE>

- 上記操作を行って、新たに設定したパスワードを忘れた場合でも、[Old User Name]ボックスに[admin]、[Old Password]ボックスに[12345]を入力し、その他のボックスに新たなユーザー名とパスワードを入力することで、再度設定を行うことができます。
- 接続される機器のユーザー認証の初期値は、次の通りです。ユーザー認証を有効にしている場合、[User Name]と[Password]は、接続される機器で全て同一にする必要があります。

	User Name	Password
CCU	admin	12345
リモートカメラ	admin	12345
カメラレコーダー	guest	p2guest

● カメラレコーダーのユーザー認証について

カメラレコーダーのユーザー認証は、常に有効になっています。カメラレコーダーにIP接続するには、ユーザー認証設定を以下のように設定ください。(カメラレコーダーが、初期値の場合)

1. [UserAuth] タブで、ユーザー認証の設定 (User Name) およびパスワードの設定 (Password) を以下のように設定する。

User Name :	guest
Password :	p2guest

2. [Camera List] タブで、接続対象のカメラの設定 (CAMERA TYPE)、カメラのIPアドレスの設定 (IP ADDRESS)、およびカメラポート番号の設定 (CAMERA PORT No.) を以下のように設定する。

CAMERA TYPE :	Camcoder IP
IP ADDRESS :	192.168.0.1
CAMERA PORT NO. :	49152

カメラレコーダーの設定値および設定方法は、カメラレコーダーの取扱説明書をご参照ください。

さくいん

番号

7セグ表示輝度設定 15

C

CINEMA-GAMMA 25

COLOR CONTROL 26

F

FUNCTION 30

G

GAMMA/BLACK.GAMMA 24

H

HD DTL/SKIN DTL 27, 28

I

IPアドレス設定 15

IP簡単設定ソフトウェア 35

IP接続 33

IP接続モード 4

K

KNEE/WHITE CLIP 25

L

LED表示輝度設定 14

LENS FILE/EDIT 31

M

MATRIX 26, 27

P

PEDESTAL/FLARE/GAIN 23

R

ROP SD CARD 32

ROP設定ファイル 13

保存 13

読み出し 13

ROPセットアップソフトウェア 36

ROPメニュー

設定項目 23

操作 21

S

SD DETAIL 28

SHADING(WHITE) 23

SYSTEM 29, 30

あ

アップデート 19

え

エラー表示 20

か

カメラナンバー 10

き

機器情報保存 18

さ

サブネットマスク設定 15

し

シーンファイル 10

保存 10

読み出し 10

初期化 18

シリアル接続モード 4

シリアル設定 17

CCUシリアル 17

リモートカメラシリアル 18

シンクロシャッター 19

せ

セットアップモード 6

た

タリール出力設定 19

タリール制御設定 20

タリールナンバー設定 19

て

デフォルトゲートウェイ設定 16

と

動作モード 4

設定 5

は

バージョン確認 18

ひ

表示輝度設定 14

ふ

フォーマット(メモリーカード) 13

ブザー鳴動設定 14

フレア設定 14

へ

ペDESTAL設定 14

ほ

ポート設定 16

ゆ

ユーザーファイル 11

保存 11

読み出し 11

り

リモートカメラ設定ファイル 16

保存 17

読み出し 17

れ

レンズファイル 12

保存 12

読み出し 12

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

© Panasonic Corporation 2012-2013